

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	2	町営園部団地建替事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	園部団地建替事業に関する基本方針に基づき、町営園部団地の建替を推進する。 ※施設規模等が不確定のため、令和6年度及び令和7年度事業費については「概算不確定」としている。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
園部団地建替に伴う既存入居者の移転及び移転後の生活の安定を図るため、「園部団地入居者移転補助金」、「園部団地入居者移転先住宅家賃補助金」を実施した。「園部団地入居者移転補助金」については5件、「園部団地入居者移転先住宅家賃補助金」については3件の申請実績となった。 「園部団地建替候補地地盤調査」を実施し、園部団地建替における第1優先候補地である「神の浦ため池跡地」の地盤状況の把握を行った。 また、「先導的官民連携支援事業(国土交通省)」を活用し、「園部団地建替事業」のPFI手法における実現可能性を調査した。				
業務開始年度		令和2年度		
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費		9,244	千円	8,281 千円
	内 補助金等	3,565	千円	3,268 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	「園部団地入居者移転補助金」、「園部団地入居者移転先住宅家賃補助金」の実施により、園部団地既存入居者の移転及び移転後の生活の安定を図ることができた。 「園部団地建替候補地地盤調査」の実施により、「神の浦ため池跡地」において、支持層となり得る地盤の存在を確認した。 「先導的官民連携支援事業」により、「園部団地建替事業」のPFI手法における実現可能性の評価を行った。
事業の課題・問題点	「園部団地入居者移転補助金」、「園部団地入居者移転先住宅家賃補助金」を実施するとともに、きめ細かな園部団地既存入居者の移転及び移転後の生活の安定を図り、円滑な移転の推進を図ることが必要である。 移転候補地及び事業手法の結果に基づき、移転先及び事業手法の決定を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 引き続き、「園部団地入居者移転補助金」、「園部団地入居者移転先住宅家賃補助金」を実施し、園部団地既存入居者の移転及び移転後の生活の安定を図り、円滑な移転の推進を図るとともに、地盤調査及び事業手法評価の結果に基づき、移転先及び事業手法の決定を行い、「園部団地建替事業」の推進を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	10	移住支援金		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	東京圏への一極集中の是正及び町内企業等の人材確保を目指すため、移住に要する負担の軽減を図ることを目的として移住支援金を支給する。 ※令和6年度で終了			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
佐賀県と連携して「移住支援金」を実施し、東京圏への一極集中の是正及び町内企業等の人材確保を図った。				
業務開始年度	令和元年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	8,000 千円		5,000 千円	
	内 補助金等	6,000 千円	3,750	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和5年度において、「移住支援金」については2件の申請実績となった。
事業の課題・問題点	「移住支援金」の交付対象者要件のひとつとして、県が運営する「さがジョブナビ」に移住支援金対象として掲載されている求人に就職することが条件となっているため、町内企業に「さがジョブナビ」への登録を推進する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本事業は佐賀県と連携して実施している事業である。制度利用の推進を図るために幅広く周知を行い、今後も継続して事業実施を行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	11	さが暮らしスタート支援事業に係る移住支援金		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	人口移動による社会減を抑え、将来にわたって地域の活力を維持していくため、安定した雇用の創出や移住の促進等により新しい人の流れを創出することを目的として、さが暮らしスタート支援事業に係る移住支援金を支給する。 ※令和6年度で終了			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
佐賀県と連携して「さが暮らしスタート支援事業に係る移住支援金」を実施し、本町内への移住・定住の促進及び地域の担い手不足の解消を図った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	2,600 千円		2,200 千円	
	内 補助金等 1,950 千円		1,650 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和5年度において、「さが暮らしスタート支援事業に係る移住支援金」については3件の申請実績となった。
事業の課題・問題点	「さが暮らしスタート支援事業に係る移住支援金」の交付対象者要件のひとつとして、県が運営する「さがジョブナビ」に移住支援金対象として掲載されている求人に就職することが条件となっているため、町内企業に「さがジョブナビ」への登録を推進する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本事業は佐賀県と連携して実施している事業である。制度利用の推進を図るために幅広く周知を行い、今後も継続して事業実施を行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	12	工場団地の緑地緩和		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	工場団地毎の緑地緩和を行い、企業の増設等を支援する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
相談も併せて届出案件はなかった。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	0 千円		0 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	緑地が関係する工場立地法に基づく特定工場変更届が1件なされたが、当該事業(緩和した緑地割合)に直接関係する案件ではなかった。
事業の課題・問題点	特になし。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 既存工場増設などにつながるよう、引き続き相談に対応する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	14	住宅リフォーム助成制度		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		② 幸せ大家族化計画(二世帯・三世帯住宅の推奨)
事業の概要	国等が実施する、住宅リフォーム(同居のための二世帯・三世代住宅を含む)の助成制度の周知を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
町ホームページを活用し、国における住宅リフォーム(同居のための二世帯・三世帯住宅を含む)の助成制度の周知を行うとともに相談窓口を設置した。				
業務開始年度	平成29年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町ホームページを活用して、住宅リフォームの助成制度の周知を行うことにより、広く同居のための二世帯・三世帯住宅に対する理解促進を図ることができた。
事業の課題・問題点	二世帯・三世帯住宅に対する理解促進は図られているが、二世帯・三世帯住宅へのリフォームのニーズはまだ少数である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	廃止	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第一次評価】 本事業の実施により、二世帯・三世帯住宅に対する理解促進を図ることができたが、リフォームへのニーズはまだ少数である。今後は、町内住み替えなどを含めた世帯のライフスタイルや様々なニーズに合わせた新たな取組、支援などを検討する必要がある。			
	【第2次評価】 制度そのものが終了するわけではないため継続とする。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	15	都市計画線引きの見直し		
担当課	定住促進課		担当係	都市計画係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		③ 積極的な土地開発
事業の概要	市街化区域内の土地利用の現況を踏まえ、人口及び産業の動向及びそれに必要な都市的土地利用の需要の適切な見直し等を勘案し、線引きの見直しを行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
都市計画法に基づき、都市における人口、産業、土地利用、交通などの現況及び将来の見通しを定期的に把握し、客観的・定量的なデータに基づいた都市計画の運用をするため、基礎調査を行った。				
業務開始年度	令和5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	2,934	千円	2,934	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	佐賀県に対して鳥栖基山都市計画基礎調査についての費用を負担することにより、基礎調査を実施した。
事業の課題・問題点	都道府県が調査主体として実施するものであるが、町が実施する調査結果を活用するなど、町と連携した効率的かつ効果的な調査を実施する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 基礎調査の結果を踏まえて今後、県との協議を進め、区域区分の見直しを進める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	24	黒谷都市下水路施設関係費		
担当課	建設課		担当係	上下水道係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境		② 自然と身近にふれあえる基山づくり
事業の概要	黒谷都市下水路の維持管理を委託する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
黒谷都市下水路の維持管理として草刈業務を委託し実施した。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	150	千円	150 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	黒谷都市下水路の維持管理として、草刈業務は必要不可欠である。
事業の課題・問題点	黒谷都市下水路の維持管理にあたって、調整池内に草木が生い茂っており、土砂も含め撤去等の検討が必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 黒谷都市下水路の維持管理として、草刈業務は必要不可欠である。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	30	環境基本計画推進事業		
担当課	まちづくり課		担当係	生活環境係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境		③ 協働による環境美化の推進
事業の概要	環境基本条例に基づく、環境施策の中心となる環境基本計画の推進を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
令和4年2月に基山町環境基本計画を策定し、令和4年度に再生可能エネルギー導入可能性調査を実施した。 この再生可能エネルギー導入可能性調査で太陽光発電と生ごみバイオマスにおいて可能性が高いとの結果から、令和5年度は公共施設等における太陽光発電設備導入可能性調査を実施した。				
業務開始年度		令和3年度		
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費		11,286	千円	11,248 千円
	内 補助金等	8,000	千円	8,000 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	太陽光発電設備の導入可能性のある50の公共施設等について、図面や構造計算書をもとに現地調査を行い、構造や導入・ランニングコストから抽出された10施設について、基本設計を行った。
事業の課題・問題点	太陽光発電設備の導入については多額の費用を要することから、活用可能な補助金等の検討を行い、事業の進捗を図っていく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 現実的に設置できる公共施設を明確にすることができた。今後は、この結果を踏まえ環境基本計画・地球温暖化対策実行計画を更新し、導入については多額の費用を要することから、活用可能な補助金等の検討を行い、事業の進捗を図っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	35	浄化槽整備事業		
担当課	建設課		担当係	上下水道係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(2) まちなみ環境		③ 協働による環境美化の推進
事業の概要	浄化槽対象地域内において浄化槽を設置する際に、設置費用の一部を補助する。また、整備対象地域の見直しを行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
以下のとおり、浄化槽整備事業において合計額2,027千円の補助金交付を行った。 1. 設置整備事業 補助金交付額:1,410千円 (内訳)5人槽:3基×332千円=996千円、7人槽:1基×414千円=414千円 2. 汲取り便槽撤去費 補助金交付額:180千円 3. 合併浄化槽への転換に伴う宅内配管設置補助 補助金交付額:437千円			
業務開始年度	昭和63年度		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	2,995	千円	2,027 千円
	内 補助金等	1,981 千円	1,658 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	新たに合併処理浄化槽を設置された2件、汲取り便槽から転換により合併浄化槽を設置された2件の合計4件について、すべてに補助金交付を実施し、水洗化率の向上につながった。
事業の課題・問題点	合併処理浄化槽の設置は個人の任意であり、設置に対し補助を行っているが設置費用及び維持管理費用の個人負担を伴う。新築住宅は合併処理浄化槽を設置されるが、既存住宅の非水洗化世帯はまだ多いので、単独浄化槽及び汲取り便槽からの転換については、設置補助に加えて撤去費及び宅内配管設置に対する補助メニューを令和5年度に創設した。 今後は上記の設置整備事業に係る補助金に加え、家庭用浄化槽維持管理費補助金の周知を図り、合併浄化槽の更なる普及を図っていきたい。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 合併処理浄化槽の設置は個人の任意であり、設置に対し補助を行っているが設置費用及び維持管理費用の個人負担を伴う。新築住宅は合併処理浄化槽を設置されるが、既存住宅の非水洗化世帯はまだ多いので、単独浄化槽及び汲取り便槽からの転換については、設置補助に加えて撤去費及び宅内配管設置に対する補助メニューを令和5年度に創設した。 今後は上記の設置整備事業に係る補助金に加え、家庭用浄化槽維持管理費補助金の周知を図り、合併浄化槽の更なる普及を図っていきたい。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	44	地域公共交通実証実験事業		
担当課	定住促進課		担当係	地域公共交通係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(3) 集客拠点整備		② 機能的な交通ネットワーク
事業の概要	地域公共交通の利便性の向上と持続可能なモビリティ体系の構築を目的として実証実験事業を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
多様な移動特性・ニーズを踏まえ、10区と13区を対象とした、予約制・乗合型の「オンデマンド交通」の実証運行を行った。なお、地元小学校児童にオンデマンド交通での通学を体験してもらうことで、通学利用の需要についても検証を行った。				
業務開始年度	令和5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	2,437	千円	2,271	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	実証実験期間中、乗合デマンドタクシーの利用は登録者86人で、130回の利用があった。また、乗合デマンドタクシー通学利用の登録は1名で、9回の利用があった。一般タクシーの利用者数は減少せず、懸念していたタクシー事業への影響は見られなかった。
事業の課題・問題点	オンデマンド交通事業を本格開始する場合、一般タクシーのドライバーと別でデマンドタクシー用の人員を確保することが必要不可欠である。また、通学距離が3km以上の児童4名を対象としたデマンドタクシーの通学利用の実証運行では、3名の対象者が利用を見送った。見送った理由として、「コミュニティバス等の手段で通学するため、必要性を感じない」があげられた。 利用した1人は、同じ登校班なのに対象が1人になったことや、小学生が1人でタクシー通学することへの抵抗があった。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今回の実証実験の予約受付は、電話予約のみで行った。事前説明会では、ホームページやWEBアプリでの予約を希望する意見を数件いただいた。高齢者を中心にWEB予約に抵抗がある方もいることが予想されるため、WEBアプリを導入する場合は直感的で利用しやすいシステムを構築する必要がある。 また、通学距離3kmで区切るのではなく、登校班等で対象とするなどの検討が必要。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	45	図書館資料購入事業		
担当課	まちづくり課		担当係	図書館係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(3) 集客拠点整備		③ 集客拠点の連携による新たな魅力拡大
事業の概要	新聞や雑誌、図書資料、CD、DVD等の多様な資料や情報を収集し、保存や提供を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
令和5年度は5,934冊購入した。一般書は国内外の社会・経済状況の流れに沿う図書を中心に選書し、児童書は長く読み継がれている絵本・読み物の一部を買い替えることで、図書の鮮度や充実を図った。このうち利用者からの要望に対して、840件のリクエスト購入を行った。視聴覚資料(CD・DVD)は、読書バリアフリーを念頭に置きオーディオブックの新規購入や福祉関連受賞作品を中心に選定した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	12,947	千円	12,941	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	新聞・雑誌・図書資料において、広く情報収集し提供でき、来館者数・利用者数・貸出冊数ともに昨年度よりも伸びている。 視聴覚資料においては、県内図書館で利用減と聞く中で本町図書館の貸出数は増加している。オーディオブックは利用はあっているものの、まだ少数にとどまっている。今後、ジャンルの検討や周知を図る必要がある。
事業の課題・問題点	今後も多くの方にご利用いただけるよう、町民満足度の高い魅力ある図書館であり続けていく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 利用者の声を反映しながら図書館にふさわしい選書を心掛け、資料の収集、保存、周知提供を図っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	51	白坂久保田外1路線道路改良工事		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(4) 交通基盤整備		① 計画的で安全な交通基盤整備
事業の概要	町道白坂久保田外1路線の改良工事を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
三国・丸林線の幅員拡幅の実施に必要な道路付近の水路の切替工事を行った。				
業務開始年度	平成26年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	8,705	千円	6,843	千円
	内 補助金等	4,352	千円	3,421

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	三国・丸林線の幅員拡幅の実施に必要な道路付近の水路の切替工事を行った。
事業の課題・問題点	九州旅客鉄道株式会社と協定を締結し実施されている三国踏切の拡幅事業と一体的に事業を行っているため、九州旅客鉄道株式会社と協議しながら事業を進める必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和6年度に事業完了予定としているため、関係機関と協議しながら計画的に事業を進めていく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	55	教材、教育用備品購入事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	子供たちに基礎学力向上のため、授業等に必要な教材や電子黒板、備品等を購入する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
学校図書や授業等に必要な教材や備品等を購入し、子供達の教育環境の整備や基礎学力向上に努めた。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	12,552	千円	12,467 千円
	内 補助金等	467 千円	467 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	毎年学校図書の購入を行い、子供達の読書活動の促進を図った。また、一人一台端末で活用できるAIタブレットドリルを整備し、個別最適な学習を行うことができた。
事業の課題・問題点	タブレットドリルについては、さらに利用率を向上させるため、使いやすいドリルを検討していく必要がある。また、一人一台端末の更新については、国の補助金等を利用し、適切に更新を行っていく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 子供達の基礎学力向上やICT教育の推進のため、今後も適切に教材備品の整備を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	57	外国語指導助手派遣事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	小中学校の外国語教育の充実を図るために、英語指導助手として外国人を配置する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
各小学校に1名、中学校に1名の合計2名のALTを派遣した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	7,195 千円		6,944 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	小学校(2校合計)では約177日、中学校では約140日派遣を行い、外国語教育の充実を図ることができた。
事業の課題・問題点	ALTの活動のより有効な活用方法や、派遣日数等を検討し、英語力の向上を図っていく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 ALTの活動の活用方法や、一人一台端末を利用した学習方法を検討し、英語力の向上を図っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	59	学校教育用システム運用事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	小中学校の校務用及び小学校のパソコン教室用パソコンの適正化を行うことで、学習環境を改善し、業務の効率化及び学力の向上を図る。契約が令和6年11月に完了することから、以降は更新等を含め検討する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
一人一台端末の利用促進を図った。長期休暇中には端末の持ち帰りを実施し、端末の利活用を進めた。また、校務用のネットワークの更新についても令和7年度の更新に向けた検討を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	8,815	千円	8,815	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	長期休暇中の一人一台端末の持ち帰りや、オンラインミーティングの実施を通して、自宅での端末活用の向上を図ることができた。
事業の課題・問題点	校務用パソコンのネットワークやパソコンの更新が令和7年度に実施されるため、学校等の意見を取り入れ、円滑な入れ替えとなるよう準備を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も児童生徒数の増加に合わせて、教育環境の整備を実施していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	60	基山町通学支援		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	特認校制度を利用して若基小学校に通学する児童に、通学の際のコミュニティバスフリーパス券を補助する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
特認校制度を利用して若基小学校に通学する児童や、基山小学校に3km以上の遠距離通学する児童に対して、通学の際のコミュニティバスフリーパス券を支給する補助を行った。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	77	千円	65	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	小規模特認校制度利用者6名、基山小学校遠距離通学者3名に支援を実施した。基山小学校遠距離通学者への支援は令和5年10月から支援を開始することができた。
事業の課題・問題点	コミュニティバスが利用しにくい地域に住む児童への支援方法について、別の支援を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 補助制度がより利用しやすくなるよう改善を進めていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	61	学校給食費多子世帯支援補助金		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	基山町立小学校及び中学校に在籍する児童生徒を3人以上持つ保護者において、その年齢の上から順に数えて3番目以降の児童生徒の学校給食費を補助する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
基山町立小中学校に在籍する第3子以降の児童生徒を対象に学校給食費の補助を行った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	3,300 千円		3,297 千円	
	内 補助金等 3,300 千円		3,033 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山町立小中学校の児童生徒のうち、73人に補助を行った。多子家庭の保護者の経済的負担を軽減することができた。
事業の課題・問題点	多子家庭の保護者の経済的負担軽減のため、対象者を拡大するなどの検討を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 対象児童生徒の補助対象の拡大など検討していく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	62	学校給食食材費補助金		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	原油価格・物価高騰等により影響を受けている給食食材費について、保護者の給食費負担額を増やすことなく安定した給食を提供するため、町内の小中学校に対して補助する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
原油価格・物価高騰等により影響を受けている給食食材費について、町内の小中学校に対して補助した。					
業務開始年度		令和4年度			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		4,224	千円	4,224	千円
		内 補助金等	4,224	千円	4,001

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	原油価格・物価高騰等により影響を受けている給食食材費について、保護者の給食費負担額を増やすことなく安定した給食を提供するため、市内の小中学校に対して補助を行った。
事業の課題・問題点	原油価格・物価高騰等の影響がどの程度続くかを鑑みながら、影響を受ける間は継続して補助することが必要となる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 原油価格・物価高騰等の影響がある間は、保護者負担が増加しないように継続して補助することを検討する必要がある。 【第2次評価】 原油価格・物価高騰の影響を見極めながら適正な補助を行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	63	若基小学校大規模改造事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	学校施設の安全管理及び学校環境の整備を図るため、若基小学校校舎等の老朽改修工事を行う。 ※本事業から長寿命化改良事業へ移行する為の検討を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
老朽化した校舎等の修繕を行い、学校環境の整備を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	5,188	千円	4,599	千円
	内 補助金等	0	千円	0

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	体育館の照明修繕やプールのろ過装置などの修繕を行った。老朽化した施設設備の修繕を行い学校環境の整備を図ることができた。
事業の課題・問題点	老朽化した校舎の改修工事を行っていないため、不具合が出た箇所の修繕を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 大規模改修工事の検討を具体的に進めていく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	64	基山中プールろ過機全自動化改修事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	安定したプール設備環境を図るために令和6年度にプールろ過機の改修を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
プールろ過装置の修繕を行った。また、今後のプールの利用方法やプールの授業の実施方法について、見直す検討を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	154	千円	154	千円
	内 補助金等	0	千円	0

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	施設の老朽化により維持費増加や更新もあることから、今後のプールの利用方法について、プールの授業を外部へ委託することも含めて検討を実施したが方針の決定には至らなかった。
事業の課題・問題点	プール施設の老朽は、小中学校の共通課題であるが、改修には膨大な費用がかかるため、プールの授業を外部へ委託することを含めて引き続き、今後のプールの利用方法を検討していく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後のプールの利用方法について方針の決定には至らなかったため、引き続き検討をしていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	65	若基小学校制服購入費補助事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	小学校特認校制度を利用して入学又は転入学する児童の保護者へ制服購入費を補助する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
小学校2校の学校規模の適正化へ向け、若基小学校に小規模特認校制度を導入する際に行ったアンケートに要望のあった、若基小学校に通学する為に必要な制服の補助について実施した。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	195	千円	158	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	小規模特認校制度利用者に向け、チラシ配布や広報・ホームページ掲載することにより補助制度の周知を図った。9名(157,740円)に補助を行った。
事業の課題・問題点	制度の周知徹底を行い、今後も継続して若基小学校が複数学級となるよう努めて行く必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 若基小学校の学級数が各学年2クラス以上となるよう、さらなる周知の徹底を行う。また、補助制度がより利用しやすくなるよう改善も進めていく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	66	スクールカウンセラー事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	小学校における不登校の増加に伴う教育相談事業の重要性に鑑み、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するカウンセラーを配置し、児童や保護者の相談に対し支援を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
基山小112時間(カウンセリング97件(のべ人数120人)、教職員等への研修会5回) 若基小100時間(カウンセリング109件(のべ人数109人)、教職員等への研修会1回)				
業務開始年度		—		
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費		1,060	千円	1,060 千円
内 補助金等		353	千円	353 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	不登校傾向や情緒不安定の児童や児童の保護者に対して、的確なアドバイスをを行い、関係機関につなぐことで児童を取り巻く状況に改善が見られた。
事業の課題・問題点	カウンセリングの継続希望と新規希望が多く、カウンセリング時間の確保が難しくなっている。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 現状とニーズに応じたスクールカウンセラーの有効活用のために、今後も引き続き同じスクールカウンセラーの数年配置と担当可能時数の現状維持もしくは拡大を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	67	学校生活支援事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	不登校生徒の社会的自立及び不登校生徒数の減少を図るため、中学校に別室を設置し、学校生活支援員の配置を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
不登校対応や学校不適応生徒に対応するための取組として、平成29年度から「第2相談室」を設け、個別で対応するための居場所づくりに取り組んでいる。学校生活支援員は、この「第2相談室」に常駐して、来室生徒への対応をしている。教育相談担当に相談しながら、生徒の特性に応じて適切な対応ができている。(利用者数 延べ219人)				
業務開始年度		—		
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費		1,060	千円	1,060 千円
	内 補助金等	353	千円	353 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	現在の学校生活支援員は、看護師の資格をもち、医療に精通しているとともに、発達障害についての理解も深い。不登校と発達障害の関連は見逃せないことから、そのような視点からもアプローチし、適切な支援を行うことができている。特に、学校生活支援員も参加している定例の教育相談部会での情報共有が功を奏している。状況の把握からアセスメント、実践への助言などをそれぞれのケースで行うことができている。また、それにより状況が好転したり、家庭環境への理解も深めたりすることができた。
事業の課題・問題点	現在、他の生徒の視線が気になるという生徒が増えているため、パーティションを増設して、個別スペースを増やしたが、来室者が増えると運営が困難になる。また、黙々と学習に取り組む生徒、教師や支援員が寄り添っていないとなかなか学習に取り組めない生徒、静かに読書する生徒など、来室生徒も多様になってきているので、個々に応じた対応に苦慮している。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 個々に応じた支援をするために、通級指導教室担当者や特別支援教育コーディネーターとの連携を進める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	69	学校ICT支援事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	GIGAスクール構想を推進していくため、ICTに精通した人材を活用した教育支援を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
ICT支援員を2名を雇用し、小中学校全ての学校代表が参加するICT部会において、ICTを活用した指導法や校務DXの改善についての情報を共有した。				
業務開始年度	令和2年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	3,729 千円		3,705 千円	
	内 補助金等	1,104 千円	118	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	授業支援ソフト等の利用方法について、希望する教職員向けに学習会を実施した。Googleworkspace for Education(教育機関向けの業務効率化ソフト)のClassroom(学習管理アプリ)を活用した協働学習については定着することができた。
事業の課題・問題点	interclass cloud(授業支援ソフト)を活用できるための周知、研修を実施していく。また、デジタル教科書の利用率を向上させる必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後もICT部会とICT支援員との連携、情報共有を深め、各学校の端末活用推進に取り組む。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	70	給食センター施設等更新事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	安心安全な給食を提供するために給食センターの施設、厨房機器及び器具等の更新を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
不具合が出た施設、厨房機器についてその都度修繕を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,963 千円		1,747 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	不具合が出た施設・厨房機器については修繕を行い、安心安全に給食を提供することができた。
事業の課題・問題点	施設・厨房機器について、老朽化したものもあるため計画的な更新が必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 施設・厨房機器について、修繕を行いつつ計画的に機器の更新を行っていく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	71	基山小学校増築校舎購入維持管理事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	児童増加に伴い、教室の増築を行い児童の学習環境の維持管理を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
児童増加に対応するため2階建て校舎の増築を行い、その維持管理を行う。				
業務開始年度	令和5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	71,567	千円	71,527	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	児童増加に対応するため2階建て校舎の増築を行い、児童の学習環境を整えることができた。
事業の課題・問題点	児童の学習環境を整えることができた。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 児童の学習環境を整えるために今後も維持管理を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	72	総合的な学習支援事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(1) 学校教育		② 学校と地域の連携
事業の概要	農業体験や地域で活動する方との交流を通じ、自ら学び、考え、問題を解決する能力を育む。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
基山小・若基小4年生:福祉体験(社会福祉協議会) 基山小・若基小5年生:農業体験(田植え、稲刈り、しめ縄作り、餅つき)(農業委員会) 基山中1年生:基山を知る(基肄かたろう会)、職業人に学ぶ 基山中2年生:職場体験				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	31	千円	30	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	地域の方々との交流や勤労生産的な活動など、実際に経験や体験する活動を通して豊かな心や郷土を大切に育む心につなげている。
事業の課題・問題点	各種関係機関との連絡調整に時間がかかる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も各関係機関と連絡調整を図りながら、地域の方々との交流や活動体験を通して豊かな心や郷土を大切に育む心につなげていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	90	歴史的風致維持向上計画事業		
担当課	教育学習課		担当係	ふるさと歴史のまち推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(2) 基山式まなび		③ 基山の歴史や伝統の継承
事業の概要	『基山町歴史的風致維持向上計画』に基づき、歴史的な建造物、景観、サイン等の整備や文化遺産の調査、活用及び継承等に関する事業を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
令和4年に指定した天智天皇欽仰之碑(歴史的風致形成建造物)の調査を1件進めた。また、民俗芸能の維持継承のため民俗芸能保存会への補助、歴史的風致の根拠情報取得のための梁井家文書の調査、長崎街道沿いの保存修理・修景ガイドライン作成のために木山口町まちづくり協議会助成、創作劇など実施した。				
業務開始年度	平成31年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	7,997	千円	7,510	千円
	内 補助金等	3,799	千円	3,755

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・「天智天皇欽仰之碑」の調査を行った。今後、実施設計工事を行い、基山や基肆城跡の歴史的風致を向上させる。 ・民俗芸能では芸能活動補助を実施し、4年ぶりに開催された芸能を滞りなく催行した。 ・梁井家の調査では11点資料について調査し、荒穂神社や国境石に関する貴重な資料であることを確認した。成果は、『きやまの古文書2』としてリーフレット1,000部を作成しまとめ、役場、町立図書館、町民会館などに配架し周知を行った。 ・木山口町まちづくり協議会では木山口町修理修景ガイドラインを策定した。 ・創作劇「この道は」について、小学生4名、中学生13名が参加し、観客数は第1部506人、第2部362人、計868人を数えた。
事業の課題・問題点	・基山町の維持向上すべき歴史的風致への理解、そのための事業への認識を深めた上での事業展開が求められる。 ・梁井家文書の資料をもとに、今後の当該地域の歴史的風致の向上を進める。 ・木山口町の修理・修景のガイドラインの周知について課題がある。 ・創作劇の基本コンセプトである基山の歴史と文化を正しく伝えるために、教育委員会が劇背景について監修し進めていく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 失われた天智天皇欽仰之碑銘文を探索した後、修理へ移行できるかどうかの検討を行う。地域の民俗芸能活動を継承するため、担い手の育成や用具の維持などの支援に今後も取り組む。木山口町まちづくり協議会と連携し、木山口町の賑わい創出、修理修景に関するガイドラインを広く周知するための作業を行い、修理・修景事業実施者を増やし、実践例を増やすことで効果拡大を図る必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	93	スポーツ団体等育成事業		
担当課	まちづくり課		担当係	文化・スポーツ係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(3) スポーツ		① スポーツ人口の拡大
事業の概要	スポーツ団体等の育成や全国・九州大会等に出場する団体や個人に援助を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
九州大会出場(団体:6組、個人:9人)、全国大会出場(団体:4組、個人:18人)に対し補助金を交付した。				
業務開始年度	平成16年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,426	千円	1,426	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	九州大会、全国大会の出場者に補助金を交付することで、選手等の負担軽減につながっている。また、町内の社会教育及びスポーツ振興に寄与している。
事業の課題・問題点	同じ団体や個人の申請が多く、町民への周知が不足している。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 積極的に広報活動を行い、町民へ周知するとともに、申請の簡略化や補助金額の検討を行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	95	スロージョギング®実施事業		
担当課	まちづくり課、福祉課		担当係	文化・スポーツ係、高齢福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(3) スポーツ		① スポーツ人口の拡大
事業の概要	体力の向上や生活習慣病の予防、改善等に効果が期待される、スロージョギングの教室やイベントを行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
スロージョギング®教室を開催した。(第1クール:6月12日から8月23日まで、第2クール:1月10日から3月18日まで)				
業務開始年度	平成28年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	993	千円	993	千円
	内 補助金等	993	千円	993

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和2年度以降は、毎年参加者が増えており、令和5年度は延べ966人が参加した。6カ月間、毎週2回開催するスロージョギング®教室は、生活習慣改善のきっかけとして好評であり、町民の健康増進に寄与している。
事業の課題・問題点	新規参加者の増加を図る必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 更なる町民への周知を図るため、イベントでスロージョギング®体験会や広報活動を積極的に行い、新規参加者の増加を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	98	国民スポーツ大会準備事業		
担当課	まちづくり課		担当係	国スポ・全障スポ推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(3) スポーツ		① スポーツ人口の拡大
事業の概要	令和6年度の国民スポーツ・全障スポーツ大会開催に向け準備を行う。また、前年度にプレ大会を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
国民スポーツ大会の実施に向け、SAGA2024基山町実行委員会総会を4月に開催し、また、総務企画専門委員会、競技式典専門委員会、宿泊衛生専門委員会、輸送交通専門委員会の各専門委員会を8月から12月に開催した。また、10月20日から22日において、2023年全国卓球選手権大会(団体の部)を基山町総合体育館で、リハーサル大会として開催し、さらに、鹿児島県で開催された、国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を視察し、本番に向け、検証を行った。 その他にも、「石川佳純47都道府県サンクスツアーin佐賀・基山町」等の各種イベント開催や駅階段のラッピング、横断幕・懸垂幕の掲示、カウントダウンボードの設置、啓発グッズの作成、学校訪問による講話・体験により広報・PRを行い、町民の皆様の機運醸成を図った。				
業務開始年度		令和3年度		
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費		27,318	千円	27,317 千円
内 補助金等		6,841	千円	7,569 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	2023年全国卓球選手権大会(団体の部)を基山町総合体育館で、リハーサル大会として開催し、令和6年の本番に向け準備を行った。
事業の課題・問題点	大会本番は平日も開催され、役場の通常業務を行いながらの大会運営になり、協力できる職員の数には限りがあるため、ボランティアの協力や業務委託を活用しながら、事業を推進していく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和6年度本大会に向け、ボランティア研修会を実施し、ボランティアに協力いただきながら、大会運営を実施する。また、必要な業務委託を実施する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	99	集落支援員(スポーツ推進支援)事業		
担当課	まちづくり課		担当係	国スポ・全障スポ推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(3) スポーツ		① スポーツ人口の拡大
事業の概要	SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に関する事業の推進による地域の活性化を目的に集落支援員制度を活用し、課題の把握と活動の支援をする。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向け、機運を高めると共に大会への参加を促すため、町民の皆様へボランティア募集を実施し、140名を超える登録をいただいた。 また、令和6年4月に、おもてなし事業としてSAGA2024基山町売店出店者を募集するため、募集に向けた準備を行った。 さらに、町内の子どもたちに対し、国スポ全障スポの理解を深め、機運を高めるため令和4年度に実施した東明館学園中学校、基山中学校、若基小学校に続き、令和5年度にも、基山小学校、東明館学園高等学校を訪問し、講話及び競技体験を実施し、町内すべての学校訪問を行った。 加えて、各地域の機運を高めるため、区公民館への卓球台配置状況の調査や区対抗スポーツ大会でのラージボール卓球大会や全障スポの体験に向けた検討を行った。					
業務開始年度		令和4年度			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		2,712	千円	2,424	千円
内 補助金等		0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	ボランティア募集、SAGA2024基山町売店出店者募集準備、学校訪問を行い、町民、事業者、学校の皆様に協力いただきながら、SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向け、基山町の活性化を図ることができた。また、区公民館への卓球台配置状況の調査、区対抗スポーツ大会でのラージボール卓球大会や全障スポの体験に向けた検討を行い、地域の気運醸成を図ることができた。
事業の課題・問題点	令和6年度の大会本番に向け、ボランティア研修会、SAGA2024基山町売店出店者募集、学生競技会補助員要請を実施し、町民の皆様のご協力をいただきながら、機運を高め事業を推進して行くとともに、事業終了後も地域の活性化につながるよう取組む必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和6年度にボランティア研修会、SAGA2024基山町売店出店者募集、学生競技会補助員要請を実施し、町民の皆様にご協力いただきながら、事業の推進を図る。また、大会終了後には、希望する区の公民館に卓球台を配置し、地域の活性化を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	100	スポーツ大会開催記念品贈呈事業		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(3) スポーツ		① スポーツ人口の拡大
事業の概要	町内で開催されるスポーツ大会に記念品を贈呈することで、地域の活性化と交流人口の増加を図り、町のシティプロモーションに繋げる。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
町内で開始された16大会に対し、大会参加者の人数に応じた金額の基山シール会商品券を贈呈した。(参加者数が50人以上100人未満:1万円、100人以上300人未満:3万円、300人以上:5万円)				
業務開始年度	令和4年度			
	令和5年度(予算)	令和5年度(決算)		
総事業費	800	千円	600	千円
	内 補助金等	400	千円	300

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	大会参加者の実績(16大会の総数)は町内参加者が257人、町外参加者が4,845人となっており、大会を機に多くの方に基山町に訪れていただいた。 また、記念品を基山シール会の商品券とすることで町内での買い物を促進し、地域活性化を図ることができた。
事業の課題・問題点	特になし。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本事業は、町内にスポーツ大会を積極的に誘致し、地域の活性化と交流人口の増加を図ることで、町のシティプロモーションに寄与することを目的としており、令和4年度から地方創生推進交付金を活用して実施している。 当初の想定では、他市町で開催されているスポーツ大会を本事業をきっかけに本町内に誘致できると見込んでいたが、新規の大会獲得にはあまり効果はなかった。そこで、SAGA2024国スポ・全障スポ大会の機運情勢に寄与した令和6年度をもって事業完了とする。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	103	基肄城跡保存整備事業（前期）		
担当課	教育学習課		担当係	ふるさと歴史のまち推進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(4) 文化財の利活用		① 歴史的文化財の保護
事業の概要	特別史跡基肄城跡保存整備基本計画に基づき、前期計画で優先する整備項目を対象に基肄城跡保存整備基本設計を行い、実施的に基肄城跡の将来へ向けて有効活用を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
基肄城跡保存整備基本計画に基づき、「基本計画」において設定した前期整備地区(前期計画ー1)である「南門跡地区、山頂地区、遊歩道(3地区)」の基本設計を策定した。					
業務開始年度		平成30年度			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		11,400千円		11,400千円	
内 補助金等		7,752千円		7,752千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	山頂地区、南門地区、遊歩道(3地区)についての測量・基本設計の策定に際しては、基肄城に関連する民間団体と現地調査を行い、文化庁、佐賀県文化財保護・活用室、基肄城保存整備委員会や文化財保護審議会等との協議しながら業務を実施した。また、策定した基本設計の概要について、住民への説明会などを実施した。
事業の課題・問題点	基本設計内容を社会ニーズを見据えつつ実現するとともに、社会変化に対応する修正を関係機関と協議し進めていくことが求められる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 文化庁・佐賀県をはじめとした関係機関と協議を行いつつ、実施設計、整備工事へと取組を進める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	105	文化財保護管理事業		
担当課	教育学習課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(4) 文化財の利活用		① 歴史的文化財の保護
事業の概要	文化財及び文化遺産の調査・保護・管理・活用等を行う。また、図書館郷土資料コーナーで展示・公開を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
基肄城跡の散策路マップの増刷を行った。天智天皇欽仰之碑等顕彰建造物90周年を記念して基肄城絵はがきコンクールを実施し、基山町立図書館や町民会館で応募作品すべてを展示公開した。常設展示や企画展示、出前講座等を通した文化財・文化遺産の周知と学び知る機会の創出を行った。基山町文化遺産ガイドボランティア養成講座を月1回開催した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	411	千円	366	千円
	内 補助金等	205	183	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・基肄城散策路マップを2,000部作成し役場、町立図書館、町民会館などに配架し、基肄城のガイド時に配布している。 ・基肄城絵はがきコンクール応募総数は1,329点の応募があり、図書館や小ホールで展示会を実施した。 ・顕彰建造物竣工90年ならびに特別史跡指定70年企画展：入館者数20,980人、第15回きやま展：24,215人 ・出前講座対象：延べ220人 ・養成講座参加者月平均20名で基肄城マップの作成、3月20日の基肄城ハイキングでのガイドを行った。
事業の課題・問題点	・散策路マップは、より充実した内容の養成講座で作成した基肄城マップに置き換えていく。 ・絵はがきコンクールは天智天皇欽仰之碑に偏りがみられるのが課題。 ・養成講座では、基肄城だけでなく基山町に点在する文化遺産をテーマを決めて広げて官民のガイドの能力を高めていく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 絵はがきコンクールは、基肄城のさまざまな素材に関心を高めてもらえるような取組を行う。今後も、図書館郷土資料コーナーを活用した、町内の文化財・文化遺産の展示や出前講座・町内文化財めぐりに対するガイドなどを推進する。ボランティアガイドは文化遺産を学び親しみながら次世代へ伝えていく活動を育成し進める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	107	埋蔵文化財発掘調査事業		
担当課	教育学習課		担当係	ふるさと歴史のまち推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(4) 文化財の利活用		① 歴史的文化財の保護
事業の概要	開発等によって影響が及ぶ埋蔵文化財について、発掘調査や整理作業を通して、記録保存を図る。(受託事業)			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
埋蔵文化財包蔵地に関する事前照会、開発に伴う確認調査、埋蔵文化財受託事業による本調査、古寺遺跡7・8次発掘調査の整理作業を実施した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	10,544 千円		9,232 千円	
	内 補助金等	6,780 千円	5,091 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	埋蔵文化財包蔵地に関する事前照会208件、確認調査8件、本調査1件(夜水遺跡第2次発掘調査)、古寺遺跡7・8次発掘調査の整理作業を実施した。
事業の課題・問題点	課題としては、発掘調査後に速やかに調査成果を報告書として刊行できるよう、効率的な調査情報の取得・整理・管理をシステムティックにできる指針を作成し、それに基づく報告書作成を行っていく必要がある。発掘調査出土品については、適切な保管に努めるとともに、展示などを通してその活用を行う。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 効率的な整理・監理システムを構築し、実践していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	111	文化財活用事業		
担当課	教育学習課		担当係	ふるさと歴史のまち推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(4) 文化財の利活用		② 歴史的文化財の周知と活用
事業の概要	基山町内の文化財への関心を高めるため、文化財広報資料を更新し、町内遺跡探訪ツーリングモニタツアー等を開催する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
欽仰之碑等90周年事業として企画展示を1回、基肄城ハイキングを2回実施した。 基肄城跡マップ(3,000部)を作成し、役場、町民会館、町立図書館、JRの駅にて配架している。 町の史跡や文化財の魅力についてホームページの内容を更新するなどし、全世代に分かりやすく情報を発信するように努めた。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,804	千円	1,628	千円
	内 補助金等	902	814	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	欽仰之碑等90周年事業として、町立図書館にて企画展示を1回(会期6月6日～7月23日、入館者数20,980人)、基肄城ハイキングを11月23日(55人)と3月20日(34人)の2回(計89人)実施した。 基肄城までの登山・登城や古写真の募集などの記事や基肄城跡ハイキング募集記事などの更新を行うとともに豪雨災害にともなう危険箇所について17件の掲示を行った。
事業の課題・問題点	ハイキングの内容の充実、より多くの町民に取組を広げていくことが課題。 ホームページや広報など速やかな情報の更新が課題。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 引き続き、基山町の文化遺産の魅力について全世代に分かりやすく、速やかに様々な媒体を活用し情報を発信する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	112	佐賀県遺産保存支援事業		
担当課	定住促進課		担当係	都市計画係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(4) 文化財の利活用		② 歴史的文化財の周知と活用
事業の概要	佐賀県美しい景観づくり条例に基づき、佐賀県知事により認定された佐賀県遺産の保存及び活用を図る事業者に対して補助金を交付し、建造物を将来に向けて保存し次世代へ継承する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
佐賀県遺産に認定された建造物等に対し、佐賀県遺産保存事業補助金を交付し将来に継承する。令和5年度は対象がなかったが、令和4年度には佐賀県遺産に認定された荒穂神社において、境内東側に位置する水神池の浚渫工事に際し、荒穂神社に關係する地元住民等に対し佐賀県遺産保存事業補助金を交付し今後の活用を促した。				
業務開始年度	令和5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和5年度は対象なし。
事業の課題・問題点	令和5年度は対象なし。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 佐賀県遺産の保存及び活用を図る事業者に対して広く周知する必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	115	農業次世代人材投資・経営開始資金事業		
担当課	産業振興課		担当係	農林業振興係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	次世代を担う農業者となることを志向する経営直後の新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金又は経営開始資金を交付する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
農業次世代人材投資事業について、令和5年度は新規就農者の認定を受けた4名に対して支援を行った。経営開始資金事業について、令和5年度は新規就農者の認定を受けた2名に対して支援を行った。				
業務開始年度	平成25年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	9,450	千円	7,641	千円
	内 補助金等	9,450	7,641	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	次世代を担う農業者となることを志向する経営直後の新規就農者に対し、就農直後の経営確立に資する経営開始資金を交付した。併せて、県、JA、農業委員会などの支援機関と新規就農者の農地の現地確認をし、新規就農者に対して栽培や農業経営等に関するアドバイスなどの支援を行い、営農の継続や安定に資することが出来た。
事業の課題・問題点	生産性向上や規模拡大を希望する意欲的な新規就農者は、経営開始直後の農業所得や経営開始資金だけでは、農業機械等の設備投資のための資金を工面することができない。また、耕作条件のよい農地の確保にも苦労している。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 新規就農者には非農家出身の者も多いため、県、JA、農業委員会などの支援機関との連携を強化して、きめ細かな支援を行っていく。生産性向上や規模拡大を希望する意欲的な新規就農者に対しては、新規就農者の農業の業種・形態、意向や希望に合わせて国、県、町の補助事業を紹介し、申請などの支援を行っていく。併せて、高齢や後継者不在のために離農される農業者の農地の情報を収集し、新規就農者とのマッチングなどの支援を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	124	棚田地域振興事業		
担当課	産業振興課		担当係	農林業振興係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	棚田振興法による指定棚田地域を含む地域振興を図るため、地域での話合いや協議会の設置及び計画策定を行い、計画に基づく事業を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
棚田振興法による指定棚田地域で農地保全の活動をしている7組織全ての代表者から現在の状況、課題及び要望等のヒアリングを行い、活用できる補助事業などの紹介を行った。令和5年度は、指定棚田地域の状況や組織の意向により補助事業の活用や協議会の設置までには至らなかった。					
業務開始年度		令和3年度			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		24	千円	0	千円
内 補助金等		0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	棚田振興法による指定棚田地域で農地保全の活動をしている7組織全ての代表者からヒアリングを行ったことで、指定棚田地域の現状や課題を把握することができた。
事業の課題・問題点	棚田振興法による指定棚田地域の全てが中山間地域にあり、少子高齢化などによる担い手不足や有害鳥獣の被害などの課題が多く、農地の維持管理も難しくなっており、営農意欲も低下している。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 指定棚田地域で活動している組織が継続的に農地保全できるようにきめ細かな支援を行っていく。また、組織の活動状況など違いはあるものの、有害鳥獣の被害など中山間地特有の課題は共通していることから、棚田振興法、国、県の動向を踏まえ、情報共有や課題解決のために引き続き補助事業の活用や協議会の設置などを検討していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	128	さが園芸生産888億円推進事業		
担当課	産業振興課		担当係	農林業振興係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	園芸農業を農業所得の確保・向上のけん引役として確立していくため、農業所得向上に向けた収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減など、園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備を推進する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
町内の農業者に対して事業の周知・相談を行った。令和5年度は事業を活用する案件は発生しなかった。				
業務開始年度	平成30年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町内の農業者へ制度の周知を図ることができた。
事業の課題・問題点	町内の農業者には要件を満たすことが難しい事業もあり、事業活用までには至らなかった。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 引き続き、町内の農業者へ制度の周知に努める。また、事業に対する相談などがあった場合は、関係機関との調整や申請等のサポートなどきめ細かな支援を行っていく。併せて、町内の農業者が活用できるように、県に対して要件緩和などの要望をしていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	130	農業振興地域整備計画基礎調査・計画策定事業		
担当課	産業振興課		担当係	農林業振興係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	農業振興地域の整備に関する法律に基づき、5～10年に一度、農業振興地域整備計画を見直し、農用地区域を明確化するとともに農用地を保全する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
農業振興地域整備計画の最新の農用地区域データ(地番等)を活用して、全庁で使用している統合型GIS(地図データ)と突合・連結を行った。併せて、農業振興地域整備計画と関連性が高い中山間地域等直接支払交付金制度及び多面的機能支払補助金制度の対象農地についても統合型GISと突合・連結を行った。					
業務開始年度		令和5年度			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		1,342	千円	1,342	千円
内 補助金等		0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	今まで農業振興地域整備計画の農用地区域や中山間地域等直接支払交付金制度及び多面的機能支払補助金制度の対象農地については、地番等のデータによる管理、業務活用を行ってきたが、地図データと突合・連結し、農地の所在や周辺の状況を明確化することで、業務の効率化を図ることができた。
事業の課題・問題点	農業振興地域整備計画の全体見直しには、基礎調査や地域での話し合いなど期間や費用を要し、また、農地での開発などがある場合は全体見直しができないため、町内の農地の状況を踏まえ、見直し時期を検討する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 統合型GISと突合・連結した農業振興地域整備計画の農用地区域や中山間地域等直接支払交付金制度及び多面的機能支払補助金制度の対象農地について随時更新を行い、引き続き業務の効率化を図っていく。農業振興地域整備計画の全体見直しについては、町内の農地の状況を踏まえ、見直し時期を検討していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	131	防災重点農業用ため池の劣化状況評価、地震・豪雨体制評価事業		
担当課	産業振興課		担当係	農林業振興係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	町内の防災重点農業用ため池8箇所のうち7箇所について、農業用ため池の決壊を防止するために施行する防災工事の必要性を判断するため、劣化状況評価及び地震・豪雨耐震性評価を数か所に分けて計画的に実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
町内の防災重点農業用ため池のうち、菖蒲坂ため池、向平原ため池、桜の堤上ため池及び八幡ため池の劣化状況評価及び豪雨耐性評価、南田ため池の豪雨耐性評価を行った。				
業務開始年度		令和5年度		
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費		6,501	千円	6,321 千円
	内 補助金等	6,500	千円	6,300 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町内の4箇所の防災重点農業用ため池の劣化状況及び豪雨耐性評価、1箇所の豪雨耐性評価の結果を得ることができた。
事業の課題・問題点	令和5年度に実施した調査では、経過観察など緊急な防災工事が必要な結果ではなかったが、今後実施を予定している調査で防災工事が必要な結果が出た場合は、管理者や県などの関係者と協議の上、早急な対応が必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 引き続き、計画的に町内の防災重点農業用ため池の7箇所に対して、劣化状況評価及び地震・豪雨耐性評価を行っていく。また、調査で防災工事が必要な結果が出た場合は、管理者や県などの関係者と協議の上、早急に対応していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	141	産業振興団体支援(公募型:商工観光分)		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(2) 工業		② 安定運営への支援
事業の概要	公募により、自らの利益の拡大によって基山町の産業振興を図り、もって地域社会に貢献すると認めた事業に対し補助する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
5月に公募を行い、2事業者からの提案があり、2つの事業が採択され事業実施がなされた。1つ目は、「基山の農産物の新商品開発と空とたね2号店オープンによる基山PR!」で町外の発信、効果が高いとされた218千円の事業であった。2つ目は「町内企業と連携！エミュー商品開発事業」で新たな町内企業連携による新商品・町の特産品開発にあたりとされた600千円の事業であった。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,000	千円	818	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町外での町内産品の販売・PRやイベント告知が継続的になされており、また、ふるさと名物であるエミューの新商品開発における特産品ができた。
事業の課題・問題点	事業実施後の伴走的な支援があることで、より事業の効果が期待できる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 意欲ある事業者への資金的な支援となり、町内企業事業の活性化につながっている。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	144	集落支援員事業(商工観光分)		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(2) 工業		② 安定運営への支援
事業の概要	地域の点検活動等を通じて、地域力の維持及び活性化につながる地域支援活動を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
基山町集落支援員2名を配置し、人口減少及び高齢化が進む地域の点検活動等を通じて、地域の実情や課題を把握し、地域力の維持及び活性化に必要と認められる施策の実施を行った。				
業務開始年度	平成27年			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	6,308	千円	6,095	千円
	内 補助金等	6,308	千円	6,095

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	特産品開発・農産物加工支援員1名は、地域の事業者、農業者や加工業者と連携して生産者支援を行い、地域の特産品開発や農産物加工支援の活動に取り組んだ。雇用・就労支援員1名は、地域の求職者、事業者、無料職業紹介所と連携して、地域の雇用・就労支援活動に取り組んだ。具体的には、町内36者の生産者支援を行い、41件の雇用契約に結びつける就労支援を行った。
事業の課題・問題点	特産品開発・農産物加工支援については、現存の生産者支援の継続に加え、高齢化に伴う生産者減退の課題に対する他施策との横断的な取り組みが必要である。就労支援については、支援対象者のボリュームゾーンである高齢者層へアプローチとして求人開拓や生涯現役事業・シルバー人材センターとの連携が不可欠である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 地域の実情を把握し、個々人と対面対応を継続して行うことにより、町内の集落及び地域力の維持が得られる重要な活動ととらえている。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	161	商店街にぎわいづくり事業		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(3) 商業		② 連携による魅力づくり
事業の概要	商店街や商工会と連携して、商店街にぎわいづくりの取組等を行い、中心市街地活性化を目指す。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
町の中心市街地である4商店会をつなぐ集客イベントを企画し、まちの賑わいの創出を図り、商業地としての魅力度向上や交流機会の拡大に繋げるための3つのイベントを実施した。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	1,400	千円	1,400 千円
	内 補助金等	1,400 千円	1,400 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和5年9月10日(日)に高校生を中心として実施した4つの商店会を周遊する「食とアートのきやまフェスタ」では約400人が、令和5年10月28日(土)にモール商店街で実施した「ハロウィンキッズモデルコレクション2023」では約200人が、令和5年12月9日(土)に4商店会を周遊する「キーワードを探そう。きやま街歩きクイズラリー」では約170人の集客があった。
事業の課題・問題点	駅前、モール商店街から他の3商店会に動線をつなぐ工夫が必要である。また、個店は家族経営が多いため、イベントに人員をあてることができず参加できない店舗がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 個店(事業者)が主体となって自らの商店会のにぎわいづくりに関わっていけるか、事業者間のコミュニケーションやネットワーク作りが重要である。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	165	ふ・れ・あ・いフェスタ事業		
担当課	まちづくり課		担当係	協働推進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		① 基山町の地域資源を売り出す(シティプロモーション)
事業の概要	基山町の自然や歴史を通して地域間交流や世代間交流を図る。「自然」、「食と健康」及び「交流」の3つのテーマ毎にエリアを分け、親子で楽しめるイベントなどを実施する。米まつりも同時開催され、「交流による地域づくり」を推進する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
地域のつながりを維持し、地域に活力を与える「交流による地域づくり」を目的に、令和5年度も12月に「ふ・れ・あ・いフェスタ(20回目)」を開催した。 総合体育館においては、国スポイベント「石川佳純47都道府県サンクスツアーin基山町」、トラックステージではダンスやカラオケ大会等、町民会館大ホールではきやま創作劇の公演、また、米まつりも同時開催され、大盛況のイベントとなった。				
業務開始年度	平成15年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	3,397 千円		3,293 千円	
	内 補助金等	1,698 千円	1,646 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町内外より多くの来場者があり、地域間及び世代間の交流の場となっている。来場者数は約8,000名。
事業の課題・問題点	現在は、職員が実行委員となり事業運営を行っているが、近年、ふ・れ・あ・いフェスタ内のイベント数が増えてきており、職員だけの運営が人数的に苦しくなっているため、業者委託やボランティアに依頼できる部分がないか検討したい。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も取組方針は変更せず継続し、地域間交流及び世代間交流を図っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	170	基山草スキー再生プロジェクト		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		① 基山町の地域資源を売り出す(シティプロモーション)
事業の概要	草スキー場の再整備と世界大会の開催を通じ草スキーの再興により、交流人口の増加を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
草スキー場の一部400㎡の不陸整正、天然芝貼りを行い整備した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	2,000 千円		1,815 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	これまで草地だった草スキー場脇にある林道寄り付きの管理棟及び四阿に近接するエリアに芝貼りを実施し、約10m×約40mの緩やかで危険の少ないキッズゾーンを新たに整備した。
事業の課題・問題点	自然の山であり、大雨による崩落、雑草や害獣被害などにより天然芝はすぐに痛むため、継続的なメンテナンスが必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 自然の山であり、大雨による崩落、雑草や害獣被害などにより天然芝であるため、計画的な保全・管理の必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	171	恋人の聖地による地域活性化事業		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		① 基山町の地域資源を売り出す(シティプロモーション)
事業の概要	大興善寺契山伝説を活用して、「恋人の聖地」として広域に連携し、観光誘客を推進し、シティプロモーションにつなげる。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
恋人の聖地を有する全国18市町村と連携して実施した「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業では、恋人の聖地選定委員であるIMALU氏に各市町村がおすすめする3品を審査していただくグルメ甲子園を開催し、審査の様子を撮影した動画を恋人の聖地や町のYouTubeチャンネル、ポータルサイト等に掲載した。 また、テレビやSNS、Webマガジンなど様々な媒体を活用したシティプロモーションを展開するとともに、恋人の聖地である大興善寺（契山）をはじめとする町内の様々な観光スポット（21カ所）をまわるデジタルスタンプラリーを開催した。				
業務開始年度		令和2年度		
		令和5年度（予算）		令和5年度（決算）
総事業費		17,100	千円	17,100 千円
内 補助金等		8,550	千円	8,550 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	恋人の聖地を有する全国18市町村と連携して広域的なシティプロモーションを実施することにより、基山町の魅力を全国へ発信することができた。 また、マスメディアを活用したシティプロモーション事業では、多くの広告媒体を活用することで様々な層への情報発信ができたことに加え、デジタルスタンプラリーのスタンプスポットを21カ所の観光スポットに設定することで、基山町全域を周遊できるイベントとなった。
事業の課題・問題点	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業にデジタル田園都市国家構想交付金を活用することができるのは令和7年度までとなっており、令和8年度以降の事業実施について検討しなければならない。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 マスメディアを活用したシティプロモーション事業については、事業費(1,210万円)に対する広告換算値が4,100万円とコストパフォーマンスのよいプロモーション事業を展開できている。また、参画市町村シティプロモーション共同基盤事業についても、SNSを活用した企画等により効果の高いプロモーションが広域連携によりできているため、事業を継続する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	171	恋人の聖地による地域活性化事業		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		① 基山町の地域資源を売り出す(シティプロモーション)
事業の概要	大興善寺契山伝説を活用して、「恋人の聖地」として広域に連携し、観光誘客を推進し、シティプロモーションにつなげる。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
基山町における観光の重要スポットである「恋人の聖地(大興善寺 契山)」を活用したイベントを開催する基山町観光協会に補助金を交付した。 基山町観光協会では、「恋人の聖地(大興善寺 契山)」を改めてPRし、「契山伝説」をはじめとする関連スポット等に光をあてることで、落ち込んだ町内への観光客を再び回復させ、地域経済の活性化を目的に、恋人の聖地に関するイベントを開催し、また、スポット周辺に案内サインを整備した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	3,759 千円		3,369 千円	
	内 補助金等	1,880 千円	1,685	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和5年11月25日に基山町秋の風物詩である大興善寺の紅葉ライトアップを4年ぶりに復活させ、参道にて夜のマルシェを開催し約1,300人が来場した。また、スポット周辺に解説銘板2枚、道順等案内板3枚を設置し来訪者へ契山伝説への周知を図った。
事業の課題・問題点	地域で守られてきた契山伝説やまつわる事象を地域資源ととらえ、文化・風土の伝承を観光の視点でどのようなアプローチが可能かを本事業とは異なる新たな事業として検討する。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本事業は一定の効果が得られたため、完了とする。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	173	草スキー場借上料		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		② おもてなし体制の強化
事業の概要	草スキーを行うための土地借上料を負担する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
草スキーを行うための土地7,500㎡を所有者から借り上げた。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	220 千円		220 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	草スキーを行うための土地7,500㎡を所有者から借り上げた。
事業の課題・問題点	当該土地を借り上げ続けるか検討する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 町の観光名物である草スキーを行う上で、必要なエリアである。借地として継続するか検討の必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	176	おもてなし事業補助金		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		② おもてなし体制の強化
事業の概要	基山町の観光地等へJR基山駅を利用して訪れる者の利便性の向上を図り、交流人口の拡大及び地域活性化を目的として実施する基山町観光おもてなし事業を推進する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
基山駅前駐輪場に設置したレンタサイクルや基山駅自由通路に設置したコインロッカーの管理運営を行う基山町観光協会に対して補助金を交付した。 基山町観光協会はレンタサイクル「キマチャリ」6台の管理運営を実施し、年間延べ114回の利用があった。また、観光スポットの新たな魅力発見や魅力情報拡散の観点から有効と考えたキマチャリを活用した観光スポットを巡る「リアル動画講座」を3回実施し、町内外から14人の参加があった。さらに、基山駅自由通路に設置した5部屋のコインロッカーの管理運営を実施し、年間延べ359回の利用があった。					
業務開始年度		令和元年			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		1,182	千円	1,182	千円
	内 補助金等	591	千円	591	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山駅前駐輪場に設置したレンタサイクル「キマチャリ」及び基山駅自由通路に設置したコインロッカーの管理運営を行うことにより、町に訪れる観光客の利便性向上や回遊性を高め、基山町の観光振興を図るとともに、来訪者の増加、満足度の向上及び定住促進など地域振興に寄与することができた。
事業の課題・問題点	レンタサイクル「キマチャリ」については、町の二次交通としての認知度が低いため、使いやすさや電動アシストである利便性を伝えていく必要がある。また、スマートフォンアプリを使ったシステムであり、不慣れな方への使い方の案内が必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本町来訪者の玄関口である基山駅に設置した2つのおもてなし施設においては、一定の利用者があり、評価の声もある。更なる活用に向けて、利用方法も含め周知を継続する必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	177	街並み環境整備事業		
担当課	産業振興課		担当係	商工観光係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(4) 観光		② おもてなし体制の強化
事業の概要	『基山町歴史的風致維持向計画』に基づき、基山草スキー場の施設等を整備する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
『基山町歴史的風致維持向上計画』に基づき、基山草スキー場の関連施設である前面広場(外構、トイレ)及び管理棟、東屋の整備を実施した。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	66,112	千円	66,097 千円
	内 補助金等	32,950 千円	31,607 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山草スキー場の関連施設である前面広場において、老朽化した既存トイレに浄化槽を設置し水洗化・洋式化するなど改修し、新たに多目的トイレを整備した。また、著しく老朽化していた管理棟においては、新たな建屋を建築し、既存建物は解体した。更に、基山遊歩道中腹にある東屋においては、耐久性の高い既成品に更新する整備を実施した。
事業の課題・問題点	建築物である管理棟、トイレについては基山町公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な管理を行っていく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 当該事業としての3施設の整備は完了した。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	188	基山っ子みらい館事業		
担当課	こども課		担当係	みらい館係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	基山っ子みらい館(町立保育所・子育て広場)において、子育て支援の充実を図り、総合的な子育て支援を推進する事業を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
・基山町内の幼稚園や保育園、6園の代表者を定期的に集め連携会議を行った。 ・子育て交流広場を無料開放するとともに、イベントや教室等を開催した。 ・子育て交流広場において、月1回「きやまっ子だより」を発行した。 ・子育て交流広場に子育てコンシェルジュを配置し、育児の悩みや相談に応じた。 ・基山っ子みらい館において、基山保育園と子育て交流広場の交流イベントを行った。 ・ファミリーサポートセンター事業において、協力会員が一度に援助活動を行うことができる子どもの人数を1人から2人以上も可能とした。また、その時に発生する利用料について、2人目以降の利用料を半額とした。				
業務開始年度	令和2年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	212,231	千円	209,149	千円
内 補助金等	1,208	千円	1,072	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・6園合同会議により、幼稚園・保育園との情報共有ができた。 ・子育て交流広場を無料開放するとともに、イベントや教室等を開催することにより、多くの保護者の子育てに関する情報交換や交流の場となった。また、月1回「きやまっ子だより」を発行し、地域子育て支援拠点施設の周知や定期的に子育て情報を発信することができた。 ・子育てコンシェルジュを配置したことにより、育児の悩みや相談に応じた情報提供や関係機関への案内がスムーズにできた。 ・基山っ子みらい館において、定期的に基山保育園と子育て交流広場の交流イベントを実施したことで、未就園児も保育園児もお互いに刺激を受け、成長を促進させることができたり、保育士も未就園児と積極的な交流を通じて、適切な支援を提供することができたりと保育の質の向上を図ることができた。 ・ファミリーサポートセンター事業において、協力会員が一度に援助活動を行うことができる子どもの人数を1人から2人以上も可能とし、その時に発生する利用料について、2人目以降の利用料を半額としたことにより、家族に子どもが2人以上いる家庭等への経済的な負担軽減や事業の利用促進を図ることができた。
事業の課題・問題点	・少子化や核家族化により、子どもの育児に不安や悩みを持つ保護者や地域で孤立した子育てを行う保護者が年々増加している。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 ・定期的な6園合同会議を開催し、情報共有及び連携の強化を図っていく。 ・地域に外向く出張型の子育て交流広場を実施するなど、子育て交流広場の周知や更なる利用促進を図っていく。 ・基山町無料職業紹介所と連携して、就労支援のためのセミナーや研修等を開催していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	190	施設給付費事業		
担当課	こども課		担当係	こども未来係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	民間の認可保育園及び認可外保育園への支援及び保育ニーズに対応する特別保育事業を行う。また、幼稚園、保育所及び認定こども園等を利用する3歳から5歳の子どもたちの利用料を助成する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
教育標準時間認定(1号認定)及び3号認定を受けて基山町の児童が利用する施設に、施設種別、所在地、定員規模、各種加算等により、児童1人当たりの給付額(＝公定価格)から利用者負担を控除した額の給付を行った。				
業務開始年度	平成27年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	549,996	千円	526,633	千円
	内 補助金等	407,842	千円	386,309

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	教育標準時間認定(1号認定)及び3号認定を受けて基山町の児童が利用する施設に給付をすることで、円滑な運営を支援し、保育体制の確保ができた。
事業の課題・問題点	令和6年度以降、施設型給付費を確定させるための処遇改善加算Ⅰ～Ⅲの一本化や認定事務手続きの簡素化が検討されているため、変更に伴う手続き内容を対象施設に周知する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和6年度以降に予定されている施設型給付費の額の確定に伴う変更内容を対象施設に適切に周知する。また、令和7年度の標準化システムの導入に伴い、町独自の利用者負担の基準を設けているため、国基準と町基準を適切に反映させ、システムを運用させる。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	193	保育人材確保事業		
担当課	こども課		担当係	こども未来係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	保育人材の確保を図るため、保育従事者の就業継続の観点から総合的な支援を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
実施なし。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	実施なし。
事業の課題・問題点	特になし。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	廃止	第2次評価	廃止
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和5年度まで各園から要望がなかったため、他の事業で保育士軽減を図る事業の実施を検討する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	195	未熟児医療助成事業		
担当課	こども課		担当係	こども家庭センター係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
未熟児により出生した場合、様々な医療が必要となり、その医療費も高額になることが多いため、その負担を軽減するため保護者へ補助を行った。				
業務開始年度	平成25年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	921	千円	775	千円
	内 補助金等	688	千円	483

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	補助件数 5件 0～18歳までの医療費については無償のため、保護者負担なし。
事業の課題・問題点	国の制度内容に合わせ適切に実施していく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 国の制度内容に合わせ適切に実施していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	197	児童手当事業		
担当課	こども課		担当係	こども家庭センター係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	0歳から中学校終了までの児童を養育している人に児童手当を支給する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
児童手当は、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、時代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、中学校修了までの児童を養育している父母その他の保護者に支給する制度で、支給額は3歳未満が月額15,000円、3歳から小学校終了前が月額10,000円（第3子以降は15,000円）、中学生が月額10,000円、特例給付（所得限度額以上で0歳～中学生）が月額5,000円となっており、6月、10月、2月に支給した。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)	令和5年度(決算)	
総事業費	268,215千円	266,695	千円
内 補助金等	227,160千円	225,799	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	【実績】 ・0歳～3歳未満 延べ3,576人 ・3歳以上小学校終了前 延べ15,475人 ・小学校終了後中学校終了前 延べ4,328人 ・特例給付 延べ498人
事業の課題・問題点	国の制度内容に合わせ適切に実施していく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 国の制度内容に合わせ適切に実施していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	199	保育環境向上事業		
担当課	こども課		担当係	こども未来係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	町内の認可保育園等の保育環境の改善を図るための補助金を交付する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容					
児童の福祉の向上を図るため、町内の認可保育園等の保育環境の改善を図るための補助金を交付した。					
業務開始年度		令和5年度			
		令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費		4,116千円		4,116千円	
内 補助金等		2,744千円		2,744千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	【実績】4園 ・たんぽぽこども園 1,029千円 ・社会福祉法人 新芽会(基山パディ認定こども園) 1,029千円 ・Chibiharu ZERO-TWO 1,029千円 ・ちびはる保育園 基山園 1,029千円
事業の課題・問題点	児童の福祉の向上のために適切に活用されていることを確認する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 児童の福祉の向上のために適切に活用されていることを年1回実施する監査の中で確認する必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	200	認可化移行支援事業		
担当課	こども課		担当係	こども未来係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	町内の認可外保育施設が認可保育所等へ移行する際の費用に対し補助金を交付する。※令和5年度で完了			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
町内の認可外保育施設が認可保育施設へ移行する際の費用に対し補助金を交付した。				
業務開始年度		令和5年度		
		令和5年度(予算)	令和5年度(決算)	
総事業費		11,585千円	5,959	千円
	内 補助金等	8,733千円	4,468	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	ちびはる保育園基山園(認可外保育所)の認定こども園移行に伴い、町民が子どもを安心して育てることのできる体制の整備ができた。
事業の課題・問題点	施設の管理運営について、適正に運営されているか監査等により確認する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 適正な入所調整、施設給付費の請求の内容確認及び年1回の監査等により、施設の運営状況を把握する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	201	放課後児童対策事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		② 基山の子育ての輪づくり
事業の概要	就労などにより保護者がいない家庭の児童(1年生～6年生)を、放課後から午後7時まで預かる。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
対象学年は6年生まで、土曜日や長期休業時の開所を午前8時からとして事業を実施。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	46,635	千円	40,737
	内 補助金等	21,612	千円
			千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	保護者の就労の増加や高学年の利用者が増えていることによる利用者の増加に対応するため、小学校のランチルームや空き教室を活用し、放課後や夏休み等の長期休業中の児童の居場所を確保した。
事業の課題・問題点	今後も宅地開発等で利用児童の増加が見込まれるため、施設の利用方法等の検討が必要。 また、支援員の確保も年々難しくなっている。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 支援員の絶対数の確保のため、業務委託や派遣委託の検討も行い、労働条件や職場環境の向上も行っていく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	210	産後健診事業		
担当課	健康増進課		担当係	母子保健係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		③ 細やかな母子保健サービス体制
事業の概要	産後うつの予防を目的に、産後1か月以内に産後健診が2回受診できる支援を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
産後うつの予防、新生児への虐待防止等を図るため、産婦健診を出産後2週間前後と産後1か月前後の2回実施した。				
業務開始年度	令和元年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,300 千円		764 千円	
	内 補助金等 650 千円		382 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	産婦健診を行うことにより、出産後間もない産婦の体調やこころの状態を把握することができ、産後うつの予防を図ることができた。
事業の課題・問題点	里帰りなどで遠方の病院を受診した場合に、すぐの対応ができず支援が難しいことがある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 産後うつの予防、新生児への虐待予防等を図るため、リスクの高い産婦の情報共有を行う等病院や里帰り先の他自治体との連携を強化し、今後も事業を継続していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	213	社会福祉協議会補助金事業		
担当課	福祉課		担当係	社会福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	社会福祉協議会と連携し、サロン事業など高齢者の活動の場の提供を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
社会福祉協議会へ補助することで、サークル活動やサロン活動、ボランティアセンター事業を開催し、ボランティア活動育成や研修等の支援を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	40,212 千円		38,012 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	社会福祉協議会と連携し、サークル活動やサロン活動、ボランティア活動等を実施し、高齢者に参加していただくことで、地域の活性化を行った。
事業の課題・問題点	今後もサークル活動やサロン活動、ボランティア活動に多くの高齢者の方が参加し、活躍していける場として推進していく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 社会福祉協議会やボランティア団体等と連携し、ボランティア活動やシルバー人材センターに登録して活動できる高齢者の活躍する場の提供と仕組みづくりの整備を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	221	認知症声かけ訓練事業		
担当課	福祉課		担当係	高齢福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの一環として地域住民、関係者及び関係機関が一体となり認知症声かけ訓練を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
けやき台の4地区(14区～17区) 合同で認知症声かけ訓練を実施した。今回から見守りシール(二次元コード)を使用した訓練を行った。また、未実施地区での実施に向けて、各区に対し訓練の概要等について説明を行った。			
業務開始年度	平成27年度		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	98	千円	51千円
	内 補助金等	76千円	39千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	認知症に関する正しい理解の習得を図ることができた。また、認知症の方に対する接し方、声のかけ方、地域での見守りの目を養うことができた。
事業の課題・問題点	事業実施直後は認知症に関する機運が上昇し、自主的な学習会等の取組を行う自治会もあるが、その機運を継続的に保つための仕組みが整っておらず、地域での認知症の取組の中心となる組織が醸成できていない。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	拡大	第2次評価	拡大
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 以前に比べて、認知症に対する理解は進んできたと思われる。認知症基本法も施行され、今後認知症の方をはじめ、様々な人たちが共生する社会の実現が求められる。これまでの行政主導の事業ではなく、地域で自主的に取り組む体制づくりを推進していきたい。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	226	鳥栖地区広域市町村圏組合負担金事業		
担当課	福祉課		担当係	高齢福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	鳥栖市、みやき町、上峰町及び基山町で鳥栖地区広域市町村圏組合を組織し、介護・予防サービス事業を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
鳥栖市及び三養基郡の町で広域組合を組織し、各負担金を基に介護保険事業を実施する。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	251,108	千円	233,744	千円
	内 補助金等	0	千円	0

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	広域で事業を行うため、経費負担が抑えられる。また、業務負担の軽減も図ることができる。
事業の課題・問題点	1市3町で事業運営をするため、合意形成を取る必要があり、事業の改善等の際には調整に手間や時間を要する。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 各市町の高齢者や地域の現状が異なっているため、各自自治体の方向性にばらつきが生じるが、引き続き担当者レベルで情報共有及び連携を図ることで、広域行政の利点を生かしながら事業を進めていきたい。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	232	成年後見制度利用支援事業		
担当課	福祉課		担当係	高齢福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	判断能力が不十分で、かつ、身寄りのない認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等の保護のため、成年後見制度の利用に際して支援を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
1件の申請を受け付け、申立て及び後見に係る報酬を利用支援として助成金の交付を行った。また、制度活用に繋げるため、社会福祉協議会をはじめ、関係機関に事業の周知を図った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	452	千円	260	千円
内 補助金等	351	千円	202	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本制度を活用することで、成年後見制度を利用することができ、利用者の権利及び利益の保護に繋がった。
事業の課題・問題点	制度の周知が十分にできておらず、利用まで至っていないケースもある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 家族づきあいの希薄化や困窮等の社会的に問題を抱えるケースが増加している。制度利用以前に、課題を抱える人に対して早期に支援できる体制づくりをしていかなければならない。また、引き続き本制度を利用できる人に対し情報が届くように広く周知を図っていく必要がある。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	234	老人福祉計画策定業務		
担当課	福祉課		担当係	高齢福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	老人福祉法第20条の8の規定に基づき、すべての高齢者の健康と福祉の増進を図るための計画を3年に1度策定する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
老人福祉法第20条の8の規定に基づき、すべての高齢者が住み慣れた地域で、健康で生き生きと安心して暮らせる社会の構築を目的に、3年に1度計画を策定する。令和5年度はアンケート調査、パブリックコメント及び5回の策定委員会を開催し、計画の策定を行った。				
業務開始年度	平成20年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	3,258 千円		3,078 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山町のアンケートや策定委員会を通して、高齢者を取り巻く現状を把握し、各種取組に反映することができた。
事業の課題・問題点	計画の認知度が低く、一部の住民しか計画の内容が浸透していない。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本町においては、今後10年～20年の間に高齢者・高齢化率が増加する。それに伴い、単身高齢者や高齢者のみで生活する世帯も増加し、地域において様々な課題が発生することが予想される。策定した計画に沿って事業を推進し、高齢者が住み慣れた地域で、健康で生き生きと安心して暮らせる取組を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	235	福祉交流館事業		
担当課	福祉課		担当係	社会福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(2) 高齢者支援		② 基山で楽しいシニアライフ
事業の概要	福祉活動への参加支援や世代間交流の推進を図るための管理運営を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
地域福祉活動の拠点として町民の方に利用していただくとともに世代間交流の推進を図り、住み慣れた地域で活動やサークル、学習等で利用できるように福祉交流館の管理運営を行った。				
業務開始年度	平成26年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	11,342	千円	10,993	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町民の方が地域活動やサークル、学習等に利用していただくことで、地域の活性化にも繋がり、福祉活動の拠点として利用している。
事業の課題・問題点	サークル活動や子どもの居場所としてより多くの町民の方に利用していただけるような事業を展開していく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も、町民の方がさまざまな活動を行う際に利用していただき、福祉活動の拠点となるような施設にしていくためにも、日頃から事業の周知啓発を行い施設の管理運営に努めていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	238	けやき台駅自由通路バリアフリー事業		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援		③ ユニバーサルデザインによるまちづくり
事業の概要	JR鹿児島本線けやき台駅の国道3号線側のバリアフリー化を隣接自治体に整備協力を要請し事業進捗を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
けやき台駅国道3号側のバリアフリー化に向け庁内で調整を行った。				
業務開始年度	平成26年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	けやき台駅国道3号側のバリアフリー化に向け庁内で調整を行ったが、方向性は決定していない。
事業の課題・問題点	けやき台駅前のバリアフリー化については既に完了しており、国道3号線側のバリアフリー化に向けた検討のため、利用者の多くを占める隣接市に協力いただく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 けやき台駅国道3号線側のバリアフリー化の実施に向けて隣接市及び国道管理者と協議を行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	240	障害者(児)自立支援給付事業		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	生活介護、施設入所、居宅介護支援及び就労実施支援等の障害福祉サービスなどを行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
障がい者や障がい児に対して、日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要に応じて障害福祉サービスを提供している。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)	令和5年度(決算)	
総事業費	712,667千円	693,139	千円
内 補助金等	537,684千円	519,453	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	制度を必要とする方に対して適切なサービス提供を行うことができた。 相談支援給付については利用者をよりきめ細かく支援するためにケアマネジメントを行う。
事業の課題・問題点	障害福祉サービス等については、個人の利用回数が増加などにより、年々給付額が伸びている。サービス提供に支障が出ないよう注視する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 経済的負担の軽減や、障がい者・児の自立した生活を支え、障がい者・児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、きめ細かく支援する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	241	重度心身障害者医療費助成事業		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	重度の心身障害者(児)の方の医療費の一部を助成する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
重度の心身障がい者、障がい児の方が病院などで診療を受けられた場合に要した医療費のうち、保険診療にかかる自己負担分の一部を助成した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	31,643 千円		30,864 千円	
	内 補助金等	15,821 千円	15,257 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	一定の障がいがある方に、入院や通院等で支払った医療費の一部を助成することで、医療費の経済的負担の軽減を行った。
事業の課題・問題点	現在、医療機関で医療費を支払った後に、町へ給付申請していただく「償還払い」を行っているが、今後は医療機関で基本的に窓口負担無しで受診できるように「現物給付」を検討していく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も、医療費助成受給資格未申請者、対象者でありながら制度を利用されていない方へのPRを行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	242	自立支援医療給付事業		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	腎臓、心臓及び肝臓などに障害を持つ身体障害者(児)の方が、日常生活に適合するために必要な機能障害の除去または軽減させる高度医療を受けた場合、医療費の一部を助成する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
障がいのある方が障がいを軽減して、日常生活能力や職業能力を回復・改善するための医療（手術等）に助成を行った。			
業務開始年度	—		
	令和5年度（予算）	令和5年度（決算）	
総事業費	22,372千円	21,397	千円
内 補助金等	16,775千円	14,259	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	自立支援医療給付事業により、重度障がい者等の医療費自己負担の軽減に繋がり、自立した日常・社会生活を営むことに貢献した。
事業の課題・問題点	引き続き拡充内容等、制度の周知の徹底を図り、円滑な実施に努める。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 障がいのある方が自立した日常生活と社会経済活動への参加ができるように給付事業に努める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	243	地域生活支援事業		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	障害者及び障害児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、日中一時支援事業や移動支援事業、障害者日常生活用具給付、手話通訳などを行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
障がい者本人が、地域社会で自立した生活を送るための就労支援を行うとともに、その家族も安心して社会生活を送ることができるよう、障がいの特性に応じた障害福祉サービスの提供、生活に必要な用具の給付を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	13,839	千円	9,911	千円
内 補助金等	4,060	千円	4,060	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	障がいのある方が地域で日常生活を続けていくことが出来るよう、日常生活や就労、社会参加に対する支援を行った。
事業の課題・問題点	事業は多岐にわたり、利用者の増加が見込まれるため、国等の動向に注視しながら、今後安定的に事業を継続する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も障がいのある方が地域で日常生活を続けていくことが出来るよう、日常生活や就労、社会参加に対する支援を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	244	補装具費給付事業		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	失われた身体機能を補う用具(車椅子や義足など)の費用の一部を助成する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
身体障害者の失われた身体部位、損なわれた身体機能を代償、補完する用具の購入費用を一部助成した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	4,000 千円		1,862 千円	
	内 補助金等 3,000 千円		1,395 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	障がいのある方が自立した生活を送るうえで、継続的な補装具給付のニーズが見込まれることから、それに応じた適切な助成を行った。
事業の課題・問題点	今後も継続的に給付が見込まれるため、事務の効率化を進め、迅速かつ適正な事務処理に努める。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 失われた身体機能を補完又は代替する用具を給付することで、障がい者の仕事やその他日常生活の能率向上を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	245	重度心身障害者福祉年金事業		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	障害者福祉年金の支給を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
重度の知的障害を有する方又は重度の身体障害を有する方について、重度心身障害者福祉年金を支給することにより、障がい者の福祉の増進を図った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	2,664 千円		2,480 千円	
	内 補助金等 0 千円		0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	重度心身障害者福祉年金を310人に支給することにより、障がい者の福祉の増進を図った。
事業の課題・問題点	重度心身障害者福祉年金の広報を行い、対象の方に確実に支給する。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 広報等により周知を行い、対象の方に確実に支給する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	249	障害者基本計画策定業務		
担当課	福祉課		担当係	障がい福祉係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援		① 障がい者(児)支援の強化
事業の概要	障害者基本法第11条第3項の規定に基づき、障害者のための施策に関する基本的な計画を9年に1度策定する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
障害者基本計画等策定委員会やアンケート調査、住民ワークショップ、パブリックコメントを行い、第3期基山町障がい者基本計画(令和6年度から令和14年度)を策定し、障がいのある方が地域で安心して暮らせる共生社会の実現を目指して、総合的に障がい者施策を展開していく。				
業務開始年度	令和5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	4,075	千円	3,535	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	障がいの有無にかかわらず、誰もが社会の対等な構成員として、一人ひとりの人権が尊重され、社会を構成する一員としてあらゆる分野の活動に参加する機会が保障される社会の実現を目指し、「みんなで創る心豊かな共創のまちきやま」を基本理念に作成した。
事業の課題・問題点	障がい者への理解や差別解消、障害の特性に応じた情報提供の充実、安心して生活できる環境整備が必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 「みんなで創る心豊かな共創のまちきやま」を基本理念とし、障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう社会の実現を目指し、住み続けたいと思えるまちの実現に向けて取り組む。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	256	国民年金事務		
担当課	福祉課		担当係	保険年金係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(4) 健康・医療		① みんなが元気なまちへ(健康づくりの強化)
事業の概要	国民年金の法定受託事務(各種手続)を市町村が窓口となり行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
免除や納付猶予・学生納付特例等の申請、資格取得・種別変更等の届出の受付、年金全般の相談、日本年金機構への報告業務、また、障がい福祉係やこども課と連携し、生活保護の受給開始や廃止等に伴う障害年金受給者の法定免除該当・非該当の手続き、産前産後の保険料免除の勧奨や申請受付を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	128	千円	49	千円
	内 補助金等	128	49	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	申請や届出、年金全般の相談、日本年金機構への報告等について、遅滞なく業務遂行ができ、住民サービスの維持ができています。 障がい福祉係との生活保護受給の開始・廃止者の法定免除の該当・非該当の手続きの徹底、産前産後の保険料免除について、継続的にこども課と連携し産前産後免除対象者に漏れなく勧奨し、免除申請をすることができた。
事業の課題・問題点	生活保護の受給や廃止、産前産後の免除については、関係各所との連絡を密にすることが必須のため、情報の共有や報告・連絡・相談の徹底が必要である。また、それに伴う迅速な手続きが必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 制度の内容が変更となった際に、業務に支障がないよう研修への参加や情報収集を徹底し、的確に対応することが必要である。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	263	交通安全対策事業		
担当課	住民課		担当係	くらしの安心・安全係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全＋idea	(5) 防犯・防災		① 安全なまちづくりの推進
事業の概要	街頭啓発や普及活動の交通安全対策を行う。また、事故防止のための転落防止柵、カーブミラー、区画線、カラー舗装等の交通安全施設の設置、修繕及び維持管理を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
・鳥栖・三養基地区交通安全協会、鳥栖警察署、交通安全指導員による交通安全街頭キャンペーン、小中学校での交通安全教室、交通安全講習会、登下校における地域での交通安全見守り活動を実施した。 ・高齢者等への交通安全教育については、広報等で定期的(毎月)に交通安全に関する内容を掲載し、交通事故防止の注意喚起を行った。 ・地元区長、地元関係者、関係機関と協議の上、カラー舗装の設置、転落防止柵の設置、区画線の引き直し、車止め・ラバーポールの設置、カーブミラーの修繕・設置、横断旗や飛び出し人形の設置等の交通安全施設の計画的な整備を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	26,341	千円	25,832	千円
内 補助金等	8,851	千円	8,851	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・基山町民の令和5年中の人身交通事故発生状況は、1万人当り18.31件で県内で3番目に発生件数が低い結果であった。 ・令和5年度高齢者運転免許証自主返納者数は91人であった。
事業の課題・問題点	・交通安全に関する情報について、関係課と連携し、特に一人暮らしの高齢者の方に対する周知を検討する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も出前講座や交通安全教室、交通安全街頭キャンペーンの実施、広報等で交通安全に関する内容を定期的に掲載し、交通事故防止に努める。特に、一人暮らしの高齢者の方に対しては、生活支援コーディネーター等と連携し、情報の提供や注意喚起を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	264	交通危険防止事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		① 安全なまちづくりの推進
事業の概要	小中学生の自転車運転による事故から身を守るため自転車用ヘルメットの購入補助を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
児童生徒の自転車用ヘルメット着用を推進し、自転車運転時の安全確保を図るため、ヘルメット購入費のうち一部を補助した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	461	千円	138	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	個人の申込が41名(58,400円)、中学校団体の申込が53名(79,000円)、合計94名に137,400円の補助を実施し、放課後や通学時の自転車運転時のヘルメット着用について意識を高めることができた。
事業の課題・問題点	自転車の乗り方を題材とした交通安全教室についても今後検討する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 広報きやまやホームページ、交通安全教室等を通じて、自転車運転による事故を防ぐ交通安全教育を継続していく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	272	消火栓更新事業		
担当課	総務課		担当係	防災係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		② 防犯体制の強化
事業の概要	耐用年数を経過した老朽消火栓を計画的に更新する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
老朽化した消火栓7基を不断水工法により更新した。また、新たに消火栓を1基増やした。51番消火栓については、実松川の河川改修に伴い、現在の位置から約50mの位置に移設した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	7,631	千円	7,045	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	消火活動に消火栓は欠かすことのできないインフラであり、定期的な更新による維持管理により、暮らしの安心と安全に貢献できた。
事業の課題・問題点	耐用年数に従い、計画的に更新する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も、消火栓設備の長寿命化を図り、適切に維持管理する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	282	人権啓発活動の推進		
担当課	総務課		担当係	文書法令係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(2) 人権・男女共同参画		① 人権意識の向上
事業の概要	人権相談の開催や差別解消研修への参加、人権週間、人権啓発ポスター掲示などの周知により、差別意識解消の啓発活動を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
毎月第3木曜日(8月は第4木曜日)午後1時～4時に人権行政相談、6月1日午後1時～4時に特設人権相談(共に会場は町民会館2階会議室)を実施。 各種人権啓発ポスターの掲示及び人権啓発に関する記事を広報に掲載。 12月10日のふ・れ・あ・いフェスタにてウォークバルーンを使った啓発活動及びアンケートの実施。 各種団体が開催する人権問題に関する研修への参加。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	454	千円	445	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	人権行政相談(毎月1回 計12回)及び特設人権相談(6月に実施)を行った。 人権啓発に関する記事を、広報きやまに3回(8月、11月、12月)掲載した。 ふ・れ・あ・いフェスタで人権に関するアンケートを行った。(アンケート回収件数100件) 人権問題に関する研修に、議員と職員合わせて計5回、延べ53人が参加した。
事業の課題・問題点	人権問題に悩まれているより多くの方の問題解消につなげられるよう、人権行政相談の周知を引き続き図っていくとともに、相談日以外で相談できる手段としての電話相談の周知を図っていく必要がある。 人権問題に関する研修に多くの職員が参加できるよう、日程について検討する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 広報きやま及び町ホームページにて人権啓発に関する記事を掲載する際には、電話相談の広報も行う。 基山町で開催する人権問題に関する研修は、町全体の行事等も勘案して職員が参加しやすい日程を設定する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	285	広報きやまの発行		
担当課	企画政策課		担当係	広報・情報管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働＋idea	(3) 情報公開		① 開かれた情報公開
事業の概要	「広報きやま」を発行し、行政情報や基山町の魅力を町民にむけて発信する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
前年度に広報回数検討を行い、令和5年5月号より広報の月1回発行を行った。 誌面の充実にも努めるとともに、地域の情報を発信するため取材を行い、特集記事を掲載した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	4,112	千円	3,821	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	発行回数を月1回にすることにより、作成コストと広報配布の負担が減少した。 記事作成に力を入れ、地域の特集記事などを掲載することができた。
事業の課題・問題点	発行回数が1回となったため、掲載情報を集約し、より読みやすい誌面作りを行うことが今後の課題である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 誌面のレイアウト等を工夫し、限られたスペースで読みやすい誌面作りを行う必要がある。またQRコードを活用し、町ホームページやSNSの情報との連携を行うことで、町民に対しよりわかりやすい情報発信を行う。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	294	議会タブレット運用事業		
担当課	議会事務局		担当係	庶務係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	議会の会議等をタブレット機器で運用することにより、ペーパーレス化及び業務の効率化を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
定例会及び全員協議会、各委員会の資料や各議員への通知等、タブレットのみで運用を行った。				
業務開始年度	令和2年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,605	千円	1,605	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	ペーパーレス化することで、議案等(各資料や通知文、議案等の差替え文書)は紙書類で送付しなくてよくなるため、印刷事務や送付事務が省け、事務の簡素化効率化につながった。また、文書検索の向上、保存管理の効率化も図ることができた。 各議員においても、情報の管理・検索が容易となった。
事業の課題・問題点	本会議の議案等については既存のペーパーで送付されるため、データ化する際に間違いがないような対応が必要となる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 送付された議案等については、データ(PDF)化及びデータ化された資料の格納、表示の確認や編集を行い、別の職員が紙資料との照合を行っており、今後も議会運営に支障がないような体制を継続して行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	301	使用料・手数料の適正化		
担当課	財政課		担当係	財政課
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	一般財源の投入額を十分に考慮した使用料及び手数料の設定を行い、従来の事業についても順次見直し、検討を推進する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
「基山町使用料・手数料見直しの基本方針」に基づき、町公共施設に係る使用料の検討会議を開催した。ここにおいて、直近の施設運営に係る経費の再算定を行い、この額を根拠とする適正な使用料の検討を行った。そして、検討結果につきパブリックコメントを実施し、令和6年度の施設使用料につき一部改正を行った。				
業務開始年度	平成25年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和6年度の施設使用料を、施設の運営経費等を根拠とする適正な使用料に改正することができた。 【使用料見直し施設】 基山町保健センター(研修室1) 基山っ子みらい館(屋内遊戯室) 基山町キャンプ場(町内高校生以上、町内小学生以上)
事業の課題・問題点	施設使用料に係る運営経費等は、積算年度から時間が経過すると陳腐化する恐れがあるので、定期的に見直しを行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も定期的に「基山町使用料・手数料見直しの基本方針」に基づき、適正な施設使用料となるよう施設使用料等の改正を行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	304	ふるさと応援寄附金事業		
担当課	財政課		担当係	ふるさと納税係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	ふるさと納税ポータルサイトを活用し、町外からの寄附者に対しお礼品の進呈を行うことにより、事業の拡大を行い自主財源の確保を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
令和5年度ふるさと応援寄附金として904,066千円をいただき、返礼品代、送料、委託料等の経費を除いた435,933千円を基金に積立てた。学校法人東明館学園東明館高等学校の支援に対して、いただいた寄附金のうち、ふるさと応援寄附交付金4,139千円を東明館学園へ交付した。				
業務開始年度	平成20年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	910,138	千円	904,179	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	寄附金は、「協働のまちづくり」、「自然環境の保全」、「地域福祉の向上」、「地域文化の振興」、「自治体におまかせ」、「県内プロスポーツ支援(サガン鳥栖、佐賀バルナース、久光スプリングス等)」の用途を寄附者が選択することで、各事業に活用されている。
事業の課題・問題点	ふるさと納税制度の見直しにより、令和7年10月からは、ポータルサイトのポイント付与が禁止されることから、ふるさと応援寄附額の減少に繋がらないようにする。 当町を適切な寄附先に選択していただくために、ホームページを通じて、ふるさと納税の支援を呼びかけることや、情報の発信を引き続き行っていく。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 ふるさと納税の寄附額の増加のため、新規の返礼品を返礼品事業者へ協力をお願いすることや、寄附のリピーターへの取組を実施していく。また、基山町を寄附先に選んでもらうよう、町の魅力度向上を図る。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	306	都市公園長寿命化計画に基づく改修等整備		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	都市公園長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理を行うため、計画的に改修等を実施する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
令和5年3月に策定した第2期基山町都市公園施設長寿命化計画で調査した健全度調査及び遊具点検結果を踏まえて、令和6年度以降の遊具等の修繕計画の検討を行った。 都市公園の中で基山総合公園においては、令和5年度に基山総合公園再整備計画を策定した。			
業務開始年度	平成26年度		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	0 千円		0 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	第2期基山町都市公園施設長寿命化計画を分析したことで都市公園ごとの遊具等の劣化状況を把握することができた。
事業の課題・問題点	基山総合公園での事業においては長寿命化事業と再整備計画事業とどちらを活用して事業を行うか検討する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 第2期基山町都市公園施設長寿命化計画に基づき都市公園の遊具更新・修繕を計画的に行っていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	315	固定資産管理システム事業		
担当課	税務課		担当係	固定資産税係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	土地評価・地籍管理システムの一体管理や基幹系システムとの連携作業により事務の効率化を図り、業務が円滑に行われるよう、システムの適正な運用を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
令和6基準年度固定資産評価替えに伴い改正された固定資産評価基準にあわせて、土地評価システムの改修を行った。また、令和6基準年度固定資産評価替え作業及び固定資産賦課業務を、改修土地評価システムを活用し実施した。				
業務開始年度	令和5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	6,734	千円	6,734	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	改修した土地評価システムを活用し、令和6基準年度固定資産評価替え作業及び固定資産賦課業務を、適正、効率的に実施することができた。
事業の課題・問題点	固定資産評価基準や各種制度の改正にあわせて、随時、適切にシステム改修を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 国、県、近隣市町、評価システム保守業者などから税改正等に関する情報を積極的に取得し、評価システムを改修の適用漏れや適用誤りがないように適切に運用する。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	319	エルタックスシステム事業		
担当課	税務課		担当係	住民税係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	地方税における手続きを電子的に行うエルタックスシステムを運用し、納税者の利便性の向上及び課税事務の効率化を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
個人住民税に関する給与支払報告書や法人住民税に関する申告書、固定資産税(償却資産)に関する申告書などがエルタックスシステムを経由し電子データで届いている。地方税共通納税システムを利用した納税も年々増加している。 令和5年度については、eL-QR印字の対応行い、固定資産税、軽自動車税に加えて新たに個人住民税(普徴)、国民健康保険税がエルタックスで納付できるよう対応を行った。また、軽自動車税の四輪車の申告書の電子での受付、個人住民税(特徴)の特徴事業所用及び納税義務者用の納税通知書を電子で送信できるように対応を行った。			
業務開始年度	—		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	3,320	千円	3,320 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	エルタックスシステムを利用した電子申告や地方税共通納税システムを利用した納税を確実に受け取ることができた。 なお、申告書などの各種課税資料については、全体の82.3%にあたる17,604件をエルタックスシステムで受信した。
事業の課題・問題点	エルタックスシステムの利用率は年々増加しているが、今後も継続して増加するように、税目の拡大などについて適切に実施していく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	拡大
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 今後は、個人住民税、軽自動車税(二輪車)の電子申告受付などの対応が予定されているため、本事業を継続する必要がある。			
	【第2次評価】 税目の拡大を予定していること、今後需要が増えると思込まれることから拡大とする。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	320	庁舎等改修事業		
担当課	財政課		担当係	財産管理係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	庁舎・町民会館・保健センター等に必要な修繕を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
庁舎1階と2階の女子トイレにウォシュレット設備と庁舎1階の多目的トイレに、おむつ交換台を取り付けた。 保健センター廊下照明器具のLED化を図った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,056	千円	1,056	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	庁舎利用者の快適なトイレ環境の整備ができた。 保健センターの廊下照明のLED化で、照明交換サイクルの長期化と消費電力の減少を図ることができた。
事業の課題・問題点	庁舎等は建築後25年以上を経過しており、経年劣化が進んでいる箇所も見受けられる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後は外壁改修、屋根改修、空調等設備の更新が求められるため、計画的に維持対策を講じていく。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名	
	325	個人番号カードの交付	
担当課	住民課	担当係	住民係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営
事業の概要	個人番号法(マイナンバー制度)の導入に伴う、個人番号カードの交付事務を実施する。		

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
・マイナンバーカードの普及のため、各区のサロン等に出向きマイナンバーカードの広報活動を行った。 ・平日にマイナンバーカードを受取りに来られない住民の方に対し、第2・第4火曜日と土曜日に時間外交付(火曜日は19時まで、土曜日は午前中)を行い、マイナンバーカードの交付率の向上を行った。また、マイナポイントの申込み期限の延長に伴いマイナポイントの支援も実施しカードの交付に努めた。			
業務開始年度	平成27年度		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	29	千円	12 千円
内 補助金等	29	千円	12 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・マイナンバーカードを受取られていない方に対し、再通知を送付し受取りにきていただくことができた。 ・時間外でのマイナンバーカード申請補助をすることにより、住民の方のマイナンバーカード取得の向上を図ることができた。
事業の課題・問題点	・今後、マイナ保険証以外にマイナンバーカードが様々な制度と紐づけされることが予想されるため、マイナンバーカードを受取りに来ていない方に対して交付に来ていただくよう働きかけを行う必要がある。 ・再通知を何度も送付しても取りに来られない方の対応が必要。 ・マイナンバーカードを持つことに対しまだ不安を持っている方がいる。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も継続して、マイナンバーカードの受取りについて取りにきていただくよう、案内を行う。また、マイナンバーカードを申請したが、マイナンバーカードの安全性を不安視する方に対して、説明を行い交付事務を円滑に行えるよう努めたい。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	326	総合戦略推進事業		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の執行状況を検証し円滑な推進を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
第1回まち・ひと・しごと創生推進会議にて総合戦略の進捗状況や令和4年度事業実績について審議・評価していただいた。国が令和4年12月にまち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し、デジタル田園都市国家構想総合戦略を策定したことを受けて、基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略に改訂した。			
業務開始年度	平成27年度		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	0	千円	0 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	第1回まち・ひと・しごと創生推進会議にて総合戦略の進捗状況や令和4年度事業実績について審議・評価をいただき、すべての取組において、重要業績指標(KPI)の達成に有効な取組であったと承認いただいた。また、検証の際の資料構成については工夫し、前年度より検証しやすい形式になるよう努めた。 また、2回の会議を経て基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略から基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略へ改訂を行った。
事業の課題・問題点	今後もより事業検証をしやすい資料の作成に努める。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略を令和5年12月に改訂し、計画期間を9年度までとした。事業は継続し、KPIの達成に向けて進捗状況の確認を行うとともに、社会変化に応じた内容の改訂に努める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	327	職員研修事業		
担当課	総務課		担当係	給与係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	多様化する住民ニーズに対応するため、職員の資質及び教養の向上を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
県への派遣について、令和5年度は佐賀県の県税事務所へ派遣を行った。その他小郡市との人事交流を行い、相互に職員を派遣している。また、市町村振興協会が主催する研修を活用し、新規採用職員等への研修を行った。				
業務開始年度	昭和26年			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	1,386	千円	559	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山町とは異なる行政規模の地方公共団体と人事交流を行うことで、基山町とは異なるスキルの取得やより大きな視点での事業の捉え方などに気づくことができています。また、継続して交流を行うことで、派遣ノウハウも蓄積され、連携の強化にもつながっている。職員を受け入れる側としても、仕事への姿勢等優れた職務能力の職員と身近に接することができ刺激とともに手本となっている。
事業の課題・問題点	人事交流については国だけでなく、県や近隣市への派遣の実績が増えてきている。引き続き、そこで得た経験・人脈を本町の行政運営に生かしていくことが必要。職員の役職や年齢、勤続年数など基準に行う階層別研修の参加については、WEB研修等も利用し研修の機会を確保することが必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 研修の機会の提供に努めるとともに、研修レベルの向上、研修内容の充実を計画的に図ること。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	329	人事評価制度の実施		
担当課	総務課		担当係	行政係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	上司による評価を実施し、職員のやる気を引き出すような制度の構築を図る。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容			
職員の人事評価を実施し、勤勉手当の成績率に反映した。			
業務開始年度	平成28年度		
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)
総事業費	0 千円		0 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	職員の人事評価を実施し、上司による面談などを通じての人事管理、業務進捗管理等に用いるとともに、職員の能力・実績に応じて適正に勤勉手当の成績率に反映することができた。
事業の課題・問題点	評価の判断基準が不公平とならないよう評価基準に関するマニュアル整備、研修等を実施し、公平な人事評価を実施する必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 評価基準が公平となるようマニュアル整備、研修等を行い、継続して実施していく方針である。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	333	鳥栖地区広域市町村圏組合負担金事業(運営費)		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		③ 効果的な広域行政の推進
事業の概要	鳥栖市、みやき町、上峰町及び基山町で鳥栖地区広域市町村圏組合を組織し、介護・予防サービス事業を行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
鳥栖地区広域市町村圏組合運営負担金として421,000円を支出した。(令和6年8月29日の組合議会8月定例会にて令和5年度負担金額が確定し、42,116円の返還があった。) また、企画担当調査会に出席し、鳥栖地区広域市町村圏組合の運営に関する事項の協議を行った。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	421	千円	421	千円
	内 補助金等	0	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	鳥栖地区広域市町村圏組合運営負担金を負担し、企画担当調査会にて鳥栖地区広域市町村圏組合の運営に関する事項の協議に参加することで、組合の円滑な運営に努めた。
事業の課題・問題点	引き続き、福祉課と連携しながら鳥栖地区広域市町村圏組合による介護予防・介護サービス事業提供のために、会費を負担し、企画担当調査会に参加する。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 企画担当調査会にて鳥栖地区広域市町村圏組合の運営に関する事項の協議に参加し、組合の円滑な運営に努める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	334	筑後川流域クロスロード協議会		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働＋idea	(4) 行財政		③ 効果的な広域行政の推進
事業の概要	「筑後川流域クロスロード地域ビジョン」に基づき、3市1町（久留米市、小郡市、鳥栖市及び基山町）で広域連携事業を展開する。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
令和5年度は本町が事務局となり担当学会議や役員会を開催し、広域連携事業が円滑に進められるよう事務局の業務に努めた。筑後川流域クロスロード地域ビジョン（計画期間：平成25年度～令和4年度）について社会情勢の変化や令和4年度に開催した首長サミットでの各首長の意見等を踏まえた改訂作業を行った。 令和5年10月27日に久留米シティプラザの六角堂広場で開催したサガン鳥栖アウェイゲームパブリックビューイングについては、約300名に会場いただいた。また、新たな広域連携事業として協議会構成市町で共通のふるさと納税返礼品の検討を開始し、各市町のふるさと納税業務担当者を含めて意見交換会を開催した。				
業務開始年度	平成5年度			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	事務局として協議会の円滑な運営に努め、令和4年度事務局から引き継いだ各懸案事項について整理を行った。サガン鳥栖アウェイゲームパブリックビューイングについては、約300名に会場いただき、クロスロード圏域住民の交流促進と一体感の醸成を図った。 また、クロスロード協議会共通のふるさと納税返礼品に係る意見交換会は、4市町共通の返礼品を作成することが可能かどうかを検討するだけでなく、各市町のふるさと納税担当者が日頃の業務について情報交換をする有意義な場にもなった。
事業の課題・問題点	クロスロード協議会共通のふるさと納税返礼品については引き続き、実現可能かどうかの検討が必要である。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 新たな連携事業などを協議し、広域行政事業のメリットを最大限に高めるように努める。			

令和5年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	337	3市1町広域利用事業		
担当課	まちづくり課		担当係	図書館係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働＋idea	(4) 行財政		③ 効果的な広域行政の推進
事業の概要	3市1町(鳥栖市、久留米市、小郡市及び基山町)の設置する図書館で3市1町の住民が個人貸出を受けることができるようにする。3市1町図書館協力協議会では、研修会等も行う。			

2. 事業の実績(Do)

令和5年度に実施した取組内容				
3市1町の図書館で連携して、3,650冊の相互貸借を実施した。また協力協議会において、職員研修会を2回、先進地視察研修を1回実施した。				
業務開始年度	—			
	令和5年度(予算)		令和5年度(決算)	
総事業費	30 千円		30 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	3市1町連携において、住民への効率的な相互貸借を実施することができた。また協力協議会では職員研修等を開催し、スキルの向上を図ることができた。
事業の課題・問題点	町民サービスの向上への取組として、今後も継続して3市1町図書館の広域利用を行っていく必要がある。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も3市1町図書館協力協議会の活動として、広域運営・広域利用の充実を図っていく。			